

ジャズ・ポピュラー学科

2年次生

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ベーシックトレーニングⅢ
担当講師名	遠山拓志
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	トランペット

#### 担当科目に関する実務経歴

講師はコンサートツアー、レコーディング、アレンジ及び譜面作成、ミュージックプログラミングの実務経験があります。

#### 授業内容

コープラッシュ、コーリン等の教本を使い、基礎技術の向上を目指します。  
基本スケール、コードアルペジオ等を習得し、インプロビゼーションに応用できるようにします。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

基礎技術を向上させることにより、演奏可能な事を増やす。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①ガイダンス：顔合わせ、授業内容の説明
- ②基礎：コープラッシュ、スケール、リップスラー、セクション奏法
- ③基礎：コープラッシュ、スケール、リップスラー、セクション奏法
- ④基礎：コープラッシュ、スケール、リップスラー、セクション奏法
- ⑤基礎：コープラッシュ、スケール、リップスラー、セクション奏法
- ⑥基礎：コープラッシュ、スケール、リップスラー、セクション奏法
- ⑦中間試験：コープラッシュより出題。グレードに合わせてスケールを出題。

#### 中間試験評価方法・評価基準

実技と平常点により判定します。  
コープラッシュ、コーリンより出題し、演奏技術の向上を判定します。  
また、出席率、向上心、授業態度、課題の消化率等、積極的に取り組んでいるか総合的に判断します。  
出席：30% 平常点：30% 試験 40%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ガイダンス：1 クオーターまでの確認
- ⑨基礎：コーブラッシュ、スケール、リップスラー、ジャズデュエット
- ⑩基礎：コーブラッシュ、スケール、リップスラー、ジャズデュエット
- ⑪基礎：コーブラッシュ、スケール、リップスラー、ジャズデュエット
- ⑫基礎：コーブラッシュ、スケール、リップスラー、ジャズデュエット
- ⑬基礎：コーブラッシュ、スケール、リップスラー、ジャズデュエット
- ⑭基礎：コーブラッシュ、スケール、リップスラー、ジャズデュエット
- ⑮期末試験：コーブラッシュより出題。グレードに合わせてスケールを出題。

#### 期末試験評価方法・評価基準

実技と平常点により判定します。  
コーブラッシュ、コーリンより出題し、演奏技術の向上を判定します。  
また、出席率、向上心、授業態度、課題の消化率等、積極的に取り組んでいるか総合的に  
判断します。  
出席：30% 平常点：30% 試験 40%

#### 特記事項

各種教本、五線紙、必ず持参してください。  
また、ホワイトボードの書いた事を写真に撮ることは禁止します。

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ベーシックトレーニングⅢ (Sax)
担当講師名	佐々木亜紀子
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	サックス

#### 担当科目に関する実務経歴

講師は TV、ドキュメンタリー映画、CMなどの音楽制作及びアドバイザー、音楽セミナー、バンド活動等の経験を持ちます。

#### 授業内容

コード進行とスケールの関係性を学びながら、アドリブソロを習得していきます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

ジャズスケールの正確さ及び、ソロフレーズを数多く習得することを目指します。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① ビバップスケールを学びます。
- ② ビバップスケールをアドリブで実践します。
- ③ コンビネーションオブディミニッシュスケールを学びます。
- ④ コンビネーションオブディミニッシュスケールをアドリブで実践します。
- ⑤ ホールトーンスケールを学びます。
- ⑥ ホールトーンスケールをアドリブで実践します。
- ⑦ 中間試験：フレーズ例を様々な Key で演奏します。

#### 中間試験評価方法・評価基準

実技試験を行います。

フレーズを確実に演奏出来るか、またそれをアドリブに生かせるか評価します。

出席：30% 平常点：30% 試験：40%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ 4度フレーズを学びます。
- ⑨ クロマチックスケールのフレーズを学びます。
- ⑩ 7thコードでの様々なコードトーンアプローチを学びます。
- ⑪ III VI II Vフレーズを学びます。
- ⑫ III VI II Vフレーズを12keyで演奏します。
- ⑬ 実際に曲を分析してジャズスケールを取り入れながらアドリブソロを演奏します①
- ⑭ 実際に曲を分析してジャズスケールを取り入れながらアドリブソロを演奏します②
- ⑮ 期末試験：ジャズスタンダード曲のアドリブ例と、自分自身のアドリブソロを演奏します。

#### 期末試験評価方法・評価基準

実技試験を行います。

楽曲分析及び使用するスケールを理解・実践しているかで評価します。

出席：30% 平常点：30% 試験：40%

#### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ベーシックトレーニングⅢ
担当講師名	菅原潤子
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	ギター

#### 担当科目に関する実務経歴

講師はギター教則本執筆 / 教則 DVD 制作 / 動画制作等の実績があります。

#### 授業内容

この科目では、講師の実務経験（ギター教則本、教則 DVD、教則動画など）に基づき、\_ギター演奏における基礎を学びます。読譜&採譜

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

ギター演奏における基礎を学び、バックキング演奏やアドリブソロで活かせるようにします。

#### 授業計画（1回目から 7回目）

- ① 授業内容の説明。今後の授業の進め方確認。
- ② ベーシックトレーニング I II のおさらい。
- ③ ベーシックトレーニング I II のおさらい。
- ④ テンション、様々なコードフォーム。
- ⑤ コードの転回形。Drop2、Drop3 コード。
- ⑥ 他の Drop コード。
- ⑦ 試験

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席率、授業態度、取り組む姿勢。授業内容の理解度。

既存の楽曲を耳コピーし、譜面におこして演奏する。

出席：50% 平常点：25% 試験：25%

#### 授業計画（8回目から 15回目）

- ⑧ 1 クオーターのおさらい

- ⑨ 様々な音楽スタイルのバックキングを学びます。
- ⑩ 様々な音楽スタイルのバックキングを学びます。
- ⑪ テンション。様々なコードフォーム。
- ⑫ ジャズマイナースケール。
- ⑬ ハーモニックマイナースケール。
- ⑭ ジャズマイナースケール、ハーモニックマイナースケールのモード。
- ⑮ 試験

期末試験評価方法・評価基準
---------------

出席率、授業態度、取り組む姿勢。授業内容の理解度。

既存の楽曲を耳コピーし、譜面におこして演奏する。

出席：50% 平常点：25% 試験：25%

特記事項
------

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ベーシックトレーニング (Key) III
担当講師名	藤本暁子
学期	春
授業の形態	実技
専攻/楽器/グレード等	ピアノ&キーボード

#### 担当科目に関する実務経験

講師は、ピアニスト、キーボーディスト、コンポーザー、アレンジャー、の経験に基づき、学生それぞれが直面している悩みも取り上げ、授業内で解決できるよう進めていきます。

#### 授業内容

アンサンブルや、ジャズセッションに必要なキーボードのテクニック（主にコードに関して）を学習していきます。両授業で取り上げている曲を中心にフォローアップの形で進めています。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

この授業で学習したことが、アンサンブルやセッション、といった授業に活用できたり、学科内の自主ライブや自己のライブ活動に活用できているかどうか。そして、その技法を一つ一つ理解し、応用できているか。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①テンションコード①：テンションの入れ方と綺麗に響く配置を学習
- ②テンションコード②：テンションの入れ方と綺麗に響く配置を学習
- ③テンションコード③：テンションの入れ方と綺麗に響く配置を学習
- ④テンションコード④：テンションの入れ方と綺麗に響く配置を学習
- ⑤テンションコード⑤：テンションの入れ方と綺麗に響く配置を学習
- ⑥試験：課題曲を演奏する。（録画します。）
- ⑦総括：試験の映像を見て、反省すると共に、2Qに向けての目標を設定する。

#### 中間試験評価方法・評価基準

毎回の授業への取り組み方で評価します。欠席・遅刻もおおいに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

出席：40% 平常点：30% 試験：30%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧フォローアップ①：アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないと

ころの強化。

⑨フォローアップ②：アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。

⑩フォローアップ③：アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。

⑪フォローアップ④：アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。

⑫フォローアップ⑤：アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。

⑬フォローアップ⑥：アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。

⑭試験：課題曲を演奏する。（録画します。）

⑮総括：試験の映像を見て、反省すると共に、3Qに向けての目標を設定する。

#### 期末試験評価方法・評価基準

毎回の授業への取り組み方で評価します。欠席・遅刻もおおいに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

出席：40% 平常点：30% 試験：30%

#### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ベーシックトレーニング (B) III
担当講師名	三枝俊治
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	ベース

#### 担当科目に関する実務経歴

講師は 30 年以上に亘りプログレッシブロックバンド KENSO に在籍し、高度な技術を要する演奏、作曲、アンサンブルの経験を持ちます。また、自身がコントラバス演奏をして率いるグループで、作曲作品の CD を発売しています。

#### 授業内容

ベースプレーヤーに必要なコードの知識、スケール、テクニック、様々な音楽のスタイルを実際の演奏の中で学んでいきます。セッションでの対応力や、少し難易度の高いリズム的アプローチにも挑戦してもらいます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

ジャズ、ブラジリアン、ラテン、レゲエ等、様々な音楽的スタイルの認識を深め、スタイルに沿った演奏ができるようになることが目標です。特にジャズのスタイルの理解を深め、インプロヴィゼーションとメロディの演奏のクオリティアップを目標とします。

#### 授業計画（1回目から 7回目）

- ①年間授業方針の説明と、卒業後のベースプレーヤーとしての様々な活動形態を提示し、将来像をイメージしてもらいます。
- ②基礎確認課題のマイナー系モードの運指をメジャースケール、マイナースケールと関連付けながら学びます。
- ③サンバ、ボサノヴァ等、ブラジリアンのスタイルを学び、ポップスやジャズへの応用を実践します。
- ④Tristeza を題材に、シンコペーションが連続するメロディの演奏を練習します。
- ⑤コードトーンの自由なアルペジオと、レゲエスタイルのベースラインを学びます。
- ⑥ソング、サルサの演奏を通して、頭抜きのリズムのスピード感と正確なサブディヴァイドを練習します。
- ⑦中間試験：馴染みのあるコード進行を使って、様々なスタイルの演奏をテストします。

#### 中間試験評価方法・評価基準

授業で学んだスタイルに則った演奏と、曲の中でビートを変えずにスタイルを変える演奏力を採点します。試験演奏 70%、平常点 30%の満点から、出席を重視し、遅刻一回 1 点、欠席一回 3 点を減点します。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧Don't Give Up, Footprintsなどを題材に、3拍子の6/4、6/8的演奏を実践します。
- ⑨Isn't She Lovely を題材に、ダイアトニックから外れる音を有効に活用する演奏を学びます。
- ⑩ブルースのメロディのフォームとスケールへの理解を深め、メロディを作って演奏します。
- ⑪マイナーブルースのヴァリエーションに富んだ代理コードを学び、インプロヴィゼーションへ応用して演奏します。
- ⑫スタンダード曲を題材に、ジャズのスタイルに沿ってメロディを演奏します。夏休み向け挑戦課題を出します。
- ⑬ジャズのメロディやインプロヴィゼーションに於けるゴーストノートの重要性を認識し、課題曲を演奏します。
- ⑭It Could Happen To You を題材に、パッシングディミニッシュと代理 II-V の使い方を学びます。
- ⑮学期末試験：春学期に取り上げたスタンダード曲のメロディとインプロヴィゼーションの演奏をテストします。

#### 期末試験評価方法・評価基準

メロディの演奏技術とスタイルに沿った表現、及びインプロヴィゼーションの実力を採点します。試験演奏 70%、平常点 30%の満点から、出席を重視し、遅刻一回 1 点、欠席一回 3 点を減点します。

#### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ベーシックトレーニング (Dr) III
担当講師名	増田博之
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	ドラム

#### 担当科目に関する実務経歴

担当講師はオペラ、ミュージカル、スタジオ録音、ライヴ等の現場で、プレイヤーとしての実務経験を持ちます。

#### 授業内容

ドラムセットの基本として、スネアドラムの奏法を習得します。また、読譜力の向上を目指します。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

- ・奏法を理解し、正しいフォームで正確に演奏することができる。
- ・1年生時よりも読譜力が、より向上している。
- ・音色が作れるようになる。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① クローズドロール （奏法の説明。ステイックの動き、音色の作り方、音量の出し方。）
- ② クローズドロール （エチュードを使ってテクニック確認）
- ③ エチュードの演奏 （Collection Of Drum Solos より 6/8 拍子。及び、クローズドロールのエチュード。）
- ④ エチュードの演奏 （Collection Of Drum Solos より 6/8 拍子。及びクローズドロールのエチュード。）
- ⑤ エチュードの演奏 （Collection Of Drum Solos より 6/8 拍子。及びクローズドロールのエチュード。）
- ⑥ 試験準備 （I クオーターで学習した事の確認、復習。）
- ⑦ 試験

#### 中間試験評価方法・評価基準

正確なリズム、良い音で演奏出来ているか。また、授業に取り組む姿勢も評価の対象とします。

### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ フラ打ち（奏法の説明と加減速）
- ⑨ フラ打ち（小太鼓100曲集よりNo67番の練習）
- ⑩ エチュードの演奏（Collection Of Drum Solos全般より。及び、小太鼓100曲集よりNo67番の練習。）
- ⑪ エチュードの演奏（Collection Of Drum Solos全般より。及び、フラ打ちのエチュード。）
- ⑫ エチュードの演奏（Collection Of Drum Solos全般より。及び、フラ打ち、クローズドロールを含むエチュード。）
- ⑬ エチュードの演奏（Collection Of Drum Solos全般より。及び、フラ打ち、クローズドロールを含むエチュード。）
- ⑭ 試験準備（Ⅱクオーターで学習した事の確認、復習。）
- ⑮ 試験

### 期末試験評価方法・評価基準

正しい奏法、音色と音量、正確なリズム、強弱への対応、テンポアップ等で評価します。また、授業に取り組む姿勢も評価の対象とします。

### 特記事項

欠席数、遅刻数も評価の対象とします。（1年時最初のオリエンテーションにて説明。）

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ベーシックトレーニングI
担当講師名	高島みほ
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	ジャズボーカル

#### 担当科目に関する実務経歴

講師はジャズボーカリストとして多数のライブ活動、アルバムリリースの経験を持ちます。

#### 授業内容

ジャズボーカルの実践的なテクニックをあらゆる方面から見つめ、習得して行きます。まずはビート感をつかむ事から始め、徐々に代表的な曲の練習をして行きます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

ボーカルの基礎を身につけ、少しずつステージで歌うイメージをつけて行きます。発声と表現の両方からのアプローチが出来るのが目標です。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①曲を視聴し、他のジャンルとの違いなどを探ります。
- ②今までやって来た曲をしっかりした声で歌ってみます。
- ③基礎トレーニング、姿勢や呼吸を整えます。
- ④基礎トレーニング、発声のメカニズムについて説明します。
- ⑤基礎トレーニング、無理のない発声とは何かを説明します。
- ⑥き、曲を使って無理のない発声を実践します。
- ⑦課題曲のテストをします。

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席状況や授業取り組む姿勢を評価します。試験50% 出席50%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧4ビート曲を練習します。
- ⑨4ビートの曲を発表します。

- ⑩8ビートの曲を練習します。
- ⑪8ビートの曲を発表します。
- ⑫ジャズバラードの曲を練習します。
- ⑬ジャズバラードの曲を発表します。
- ⑭中間発表します。
- ⑮それぞれビートの違う曲を発表します。

#### 期末試験評価方法・評価基準

ビート感をつかんで曲をとらえ、きちんと作品作りが出来ているか評価します。  
試験50% 出席50%

#### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ベーシックトレーニングIV
担当講師名	遠山拓志
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	トランペット

#### 担当科目に関する実務経歴

講師はコンサートツアー、レコーディング、アレンジ及び譜面作成、ミュージックプログラミングの実務経験があります。

#### 授業内容

コープラッシュ、コーリン等の教本を使い、基礎技術の向上を目指します。  
基本スケール、コードアルペジオ等を習得し、インプロビゼーションに応用できるようにします。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

基礎技術を向上させることにより、演奏可能な事を増やす。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①ガイダンス：2クオーターまでの確認
- ②基礎：コープラッシュ、スケール、リップスラー、ドミナントモーション、音圧拡大
- ③基礎：コープラッシュ、スケール、リップスラー、ドミナントモーション、音圧拡大
- ④基礎：コープラッシュ、スケール、リップスラー、ドミナントモーション、音圧拡大
- ⑤基礎：コープラッシュ、スケール、リップスラー、ドミナントモーション、音圧拡大
- ⑥基礎：コープラッシュ、スケール、リップスラー、ドミナントモーション、音圧拡大
- ⑦中間試験：コープラッシュより出題。グレードに合わせてスケールを出題。

#### 中間試験評価方法・評価基準

実技と平常点により判定します。  
コープラッシュ、コーリンより出題し、演奏技術の向上を判定します。  
また、出席率、向上心、授業態度、課題の消化率等、積極的に取り組んでいるか総合的に判断します。  
出席：30% 平常点：30% 試験 40%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ガイダンス：3 クオーターまでの確認
- ⑨基礎：コーブラッシュ、スケール、リップスラー、新曲視奏
- ⑩基礎：コーブラッシュ、スケール、リップスラー、新曲視奏
- ⑪基礎：コーブラッシュ、スケール、リップスラー、新曲視奏
- ⑫基礎：コーブラッシュ、スケール、リップスラー、新曲視奏
- ⑬基礎：コーブラッシュ、スケール、リップスラー、新曲視奏
- ⑭基礎：コーブラッシュ、スケール、リップスラー、新曲視奏
- ⑮期末試験：コーブラッシュより出題。グレードに合わせてスケールを出題。

#### 期末試験評価方法・評価基準

実技と平常点により判定します。  
コーブラッシュ、コーリンより出題し、演奏技術の向上を判定します。  
また、出席率、向上心、授業態度、課題の消化率等、積極的に取り組んでいるか総合的に  
判断します。  
出席：30% 平常点：30% 試験 40%

#### 特記事項

各種教本、五線紙、必ず持参してください。  
また、ホワイトボードの書いた事を写真に撮ることは禁止します。

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ベーシックトレーニングⅢ (Sax)
担当講師名	佐々木亜紀子
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	サックス

#### 担当科目に関する実務経歴

講師は TV、ドキュメンタリー映画、CMなどの音楽制作及びアドバイザー、音楽セミナー、バンド活動等の経験を持ちます。

#### 授業内容

コード進行とスケールの関係性を学びながら、アドリブソロを習得していきます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

初見の曲でもアドリブソロが出来ることを目指します。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① リディアン b7th スケールのパターンとドミナントモーションを学びます。
- ② 裏コードとスケールの関係性を学びます。
- ③ リズムチェンジ曲をアドリブしてみます。
- ④ リズムチェンジ曲のアドリブ例と自分自身のアドリブソロを演奏します。
- ⑤ 7th コード一発の様々なアドリブフレーズを学びます。
- ⑥ 7th コード一発のアドリブ例と自分自身のアドリブソロを演奏します。
- ⑦ 中間試験：3 クオーターで取り上げたアドリブ例と自分自身のアドリブソロを演奏します。

#### 中間試験評価方法・評価基準

実技試験を行います。

フレーズを確実に演奏出来るか、またそれをアドリブに生かせるか評価します。

出席：30% 平常点：30% 試験：40%

### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ ドミナント7thコードアルペジオを学びます。
- ⑨ ファンキーフレーズを学びます。
- ⑩ ビバップフレーズを学びます。
- ⑪ コルトレーンチェンジを学びます①
- ⑫ コルトレーンチェンジを学びます②
- ⑬ スムースジャズスタイルを学びます。
- ⑭ 各自、影響を受けたプレイヤーのフレーズを発表・演奏してもらいます。
- ⑮ 期末試験：4クオーターで取り上げた曲から任意で選び、アドリブ例と自分自身のアドリブソロを演奏します。

### 期末試験評価方法・評価基準

実技試験を行います。

楽曲分析及び使用するスケールを理解・実践しつつ、オリジナリティもあるかで評価します。

出席：30% 平常点：30% 試験：40%

### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ベーシックトレーニングIV
担当講師名	菅原潤子
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	ギター

#### 担当科目に関する実務経歴

講師はギター教則本執筆 / 教則 DVD 制作 / 動画制作等の実績があります。

#### 授業内容

この科目では、講師の実務経験（ギター教則本、教則 DVD、教則動画など）に基づき、\_ギター演奏における基礎を学びます。読譜&採譜

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

ギター演奏における基礎を学び、バックキング演奏やアドリブソロで活かせるようにします。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① 2 クオーターのおさらい。
- ② 既存の楽曲を耳コピーし譜面にして演奏する。
- ③ 既存の楽曲を耳コピーし譜面にして演奏する。
- ④ 既存の楽曲を耳コピーし譜面にして演奏する。
- ⑤ 既存の楽曲を耳コピーし譜面にして演奏する。
- ⑥ 既存の楽曲を耳コピーし譜面にして演奏する。
- ⑦ 試験

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席率、授業態度、取り組む姿勢。授業内容の理解度。

既存の楽曲、オリジナル楽曲を譜面におこして演奏する。

出席：50% 平常点：25% 試験：25%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ 3 クオーターのおさらい

- ⑨ オリジナルの楽曲を譜面にして演奏する。
- ⑩ オリジナルの楽曲を譜面にして演奏する。
- ⑪ オリジナルの楽曲を譜面にして演奏する。
- ⑫ オリジナルの楽曲を譜面にして演奏する。
- ⑬ オリジナルの楽曲を譜面にして演奏する。
- ⑭ オリジナルの楽曲を譜面にして演奏する。
- ⑮ 試験

期末試験評価方法・評価基準
---------------

出席率、授業態度、取り組む姿勢。授業内容の理解度。  
既存の楽曲、オリジナル楽曲を譜面におこして演奏する。  
出席：50% 平常点：25% 試験：25%

特記事項
------

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ベーシックトレーニング (Key) IV
担当講師名	藤本暁子
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	ピアノ&キーボード

#### 担当科目に関する実務経験

講師は、ピアニスト、キーボーディスト、コンポーザー、アレンジャー、の経験に基づき、学生それぞれが直面している悩みも取り上げ、授業内で解決できるよう進めていきます。

#### 授業内容

アンサンブルや、ジャズセッションに必要なキーボードのテクニック（主にコードに関して）を学習していきます。両授業で取り上げている曲を中心にフォローアップの形で進めています。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

この授業で学習したことが、アンサンブルやセッション、といった授業に活用できたり、学科内の自主ライブや自己のライブ活動に活用できているかどうか。そして、その技法を一つ一つ理解し、応用できているか。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①オープンコード①：オープンコードについて学習。どの場所で使うのが効果的なのかを学習。
- ②オープンコード②：オープンコードについて学習。どの場所で使うのが効果的なのかを学習。
- ③オープンコード③：オープンコードについて学習。どの場所で使うのが効果的なのかを学習。
- ④オープンコード④：オープンコードについて学習。どの場所で使うのが効果的なのかを学習。
- ⑤オープンコード⑤：オープンコードについて学習。どの場所で使うのが効果的なのかを学習。⑥試験：課題曲を演奏する。（録画します。）
- ⑦総括：試験の映像を見て、反省すると共に、4Qに向けての目標を設定する。

#### 中間試験評価方法・評価基準

毎回の授業への取り組み方で評価します。欠席・遅刻もおおいに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

出席：40% 平常点：30% 試験：30%

## 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧フォローアップ①：アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。
- ⑨フォローアップ②：アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。
- ⑩フォローアップ③：アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。
- ⑪フォローアップ④：アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。
- ⑫フォローアップ⑤：アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。
- ⑬フォローアップ⑥：アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。
- ⑭試験：課題曲を演奏する。（録画します。）
- ⑮総括：試験の映像を見て、反省すると共に、2年間学習したことを振り返る。

## 期末試験評価方法・評価基準

毎回の授業への取り組み方で評価します。欠席・遅刻もおおいに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

出席：40% 平常点：30% 試験：30%

## 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ベーシックトレーニング (B) IV
担当講師名	三枝俊治
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	ベース

#### 担当科目に関する実務経歴

講師は 30 年以上に亘りプログレッシブロックバンド KENSO に在籍し、高度な技術を要する演奏、作曲、アンサンブルの経験を持ちます。また、自身がコントラバス演奏をして率いるグループで、作曲作品の CD を発売しています。

#### 授業内容

インプロヴィゼーションの理論的アプローチや、スタンダード曲の拍子の変更など、高度な演奏方法を実践します。また、インプロヴィゼーションを助ける、モードやペントナックスケールの応用、ディミニッシュやオーギュメントの拡大解釈を学びます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

理論的アプローチが各自のツールとなって、より自由な表現、自在な演奏の為に活用できるようになる事と、様々なリズム的アプローチをインプロヴィゼーションや作曲／アレンジに活用できるようになる事が目標です。

#### 授業計画（1回目から 7回目）

- ①3 クオーター基礎確認課題の HMP5B, Lydian ♭7, Mixo-lydian ♭6, Altered 等の効率的な運指を考え楽器の全音域で演奏します。
- ②All The Things You Are や枯葉などのスタンダード曲を 3 拍子や 5 拍子で演奏します。
- ③3 連譜の 4 拍子と、同じ音価の音符を 16 分音符に捉えた 3 拍子を交互に演奏します。
- ④Fawlty Tenors を題材に、16 分音符の 3 つ割り、5 つ割りのフレーズを練習します。
- ⑤So What を題材に、ドリアンモードのウォーキングとインプロヴィゼーションを演奏します。
- ⑥一発ものと呼ばれる 1 つだけのセブンスコード上でのインプロヴィゼーションのバリエーションを考えます。
- ⑦中間試験：モードとセブンスコード一発もののインプロヴィゼーションをテストします。

#### 中間試験評価方法・評価基準

単調になりがちなモードと一発もののインプロヴィゼーションを、如何に豊かに表現するかを評価します。試験演奏 70%、平常点 30%の満点から、出席を重視し、遅刻一回 1 点、欠席一回 3 点を減点します。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧Giant Steps を題材に、マルチトニックシステムの曲のインプロヴィゼーションを練習します。
- ⑨メジャーセブンス、セブンス、マイナーセブンスコードに使えるペントトニックスケールを考えます。
- ⑩セブンスの裏コードと Lydian b7, Altered scale の関係を裏スケールとして確認し、実際に演奏します。
- ⑪Kary's Trance を題材に、7th b9 コードのスケールとクロマチックアプローチを演奏します。
- ⑫7th b9 b13 をディミニッシュで展開した 4 つのセブンスコードとその II-V の使い方を学びます。
- ⑬7th b13 をオーギュメントトライアドで 3 つに展開する Pat Martino の理論を学び、実際に演奏してみます。
- ⑭様々なテンションとスケールが使えるセブンスコードでのインプロヴィゼーションを実践します。
- ⑮学期末試験：幾つかの理論、スケールを自分のツールとして身につけ、実際の演奏に活かせているかテストします。

#### 期末試験評価方法・評価基準

授業で学んだ様々な理論的アプローチを、実践のツールとして使えるかどうかを見ます。試験演奏 70%、平常点 30%の満点から、出席を重視し、遅刻一回 1 点、欠席一回 3 点を減点します。

#### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ベーシックトレーニング (Dr) IV
担当講師名	増田博之
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	ドラム専攻生

#### 担当科目に関する実務経歴

担当講師はオペラ、ミュージカル、スタジオ録音、ライヴ等の現場で、プレイヤーとしての実務経験を持ちます。

#### 授業内容

ドラムセットの基本として、スネアドラムの奏法を習得します。また、変拍子のエチュードなども取り上げ、さらに読譜力の向上を目指します。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

- ・奏法を理解し、正しいフォームで良い音色で演奏することができる。
- ・春学期よりも読譜力がより向上している。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① エチュードの演奏（「N.A.R.D.」より P.6 P.7）
- ② エチュードの演奏（「N.A.R.D.」より P.8 P.9）
- ③ 初見演奏（配布するプリントより）
- ④ エチュードの演奏（小太鼓100曲集、Portraits in Rhythmより。）
- ⑤ エチュードの演奏（小太鼓100曲集、Portraits in Rhythmより。）
- ⑥ 試験準備（Ⅲクオーターで学習した事の確認、復習。）
- ⑦ 試験

#### 中間試験評価方法・評価基準

正確なリズム、良い音色が作れているか。また、授業に取り組む姿勢も評価の対象とします。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ エチュードの演奏（「N.A.R.D.」より P.10 P.11）
- ⑨ 初見演奏（ドラムセット2台でのリズムアンサンブル、譜読み。）

- ⑩ 初見演奏 (ドラムセット 2 台でのリズムアンサンブル、完成。)
- ⑪ エチュードの演奏 (小太鼓 100 曲集、Portraits in Rhythm より。)
- ⑫ エチュードの演奏 (「N. A. R. D.」、小太鼓 100 曲集、Portraits in Rhythm より。)
- ⑬ エチュードの演奏と初見演奏 (このクオーターで取り上げた曲の練習。)
- ⑭ 試験準備 (IV クオーターで学習した事の確認、復習。)
- ⑮ 試験

#### 期末試験評価方法・評価基準

正しい奏法、音色と音量、正確なリズム、強弱への対応、テンポアップ等で評価します。  
また、授業に取り組む姿勢も評価の対象とします。

#### 特記事項

欠席数、遅刻数も評価の対象とします。

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ベーシックトレーニングII
担当講師名	高島みほ
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	ジャズボーカル

#### 担当科目に関する実務経歴

講師はジャズボーカリストとして多数のライブ活動、アルバムリリースの経験を持ちます。

#### 授業内容

春学期に引き続き、テクニックの練習をメインにやっていきます。リズム、音程、声量、質感を感じるままにコントロールする練習します。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

春学期でやった事をさらに深く、ボーカリストとして大切な事を学び、表現の世界を追求する事が目標です。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①マイクの持ち方や美しく見える手の使い方を研究します。
- ②ビートによっての体のノリ方を、4ビートで練習します。
- ③ビートによっての体のノリ方を、8ビートで練習します。
- ④ストーリーを理解し、子音を立てて語りの練習をします。
- ⑤シンガーのフレージングをコピーし、曲に深みを出します。
- ⑥強弱、ダイナミクスを各所に入れ、深みを出します。
- ⑦課題曲を発表します。

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席状況や授業に取り組む姿勢を評価します。また自分なりに表現しようとしているかを見ます。試験50% 出席50%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧4ビートの曲を2曲練習します。

- ⑨4ビートの曲を2曲発表します。
- ⑩8ビートの曲をフルコーラスで1曲練習します。
- ⑪8ビートの曲をフルコーラスで1曲発表します。
- ⑫ジャズバラードを2曲発表します。
- ⑬3連のバラードを2曲発表します。
- ⑭自分の声質を理解し、マイクチェックの練習をします。
- ⑮今までやった曲のまとめをします。

期末試験評価方法・評価基準
---------------

出席状況や授業に取り組む姿勢を評価します。1年で学んだ事が発表出来たかを見ます。  
試験50% 出席50%

特記事項
------

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	インプロヴィゼーションⅢ
担当講師名	宮本裕史
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	金管楽器

#### 担当科目に関する実務経歴

この科目では講師の実務経験(ジャズオーケストラのソリスト、セクションプレイヤー、コンボ編成での奏者経験や作・編曲家としての活動)に基づき、ジャズ&ポピュラーにおける金管楽器での多様なアドリブスタイルを習得するための学習です。

#### 授業内容

1年時に身につけた技法の洗練と新たな手法の導入を並行して行います。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

ビバップスタイルを基礎にした単音楽器での即興的メロディ創造表現を実現するため、ドミナントモーションの分散和音的表現と音階的表現、そしてアプローチノート各種の習得を目指します。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①講義概要説明など／前年で身につけた知識や技法の習得度の確認。春休みでの成長度合いのチェックをします。
- ②分散和音を使った和声解決表現 5/V 7から抽出した3、5、♭7、♭9アルペジオとI mアルペジオの反復を様々な調で即興で演奏します。
- ③複合した手法での和声解決表現 1／上記アルペジオとCombination of diminished scaleを併用したドミナント部分でのメロディ表現法の練習をします。
- ④複合した手法での和声解決表現 2／上記練習のテンポアップ、ならびにアプローチノート各種を併用した練習をおこないます。
- ⑤複合手法での旋律伸縮表現 1／I△、I I m、I mなどの際に行う、アプローチノート挿入、ドミナント挿入、リズムフィギュア変更などメロディ伸縮練習です。
- ⑥複合手法での旋律伸縮表現 2／上記練習を様々な調で練習します。
- ⑦1クオーターのまとめ／1～6回の授業の理解度を、質問・筆記(ホワイトボードへの板書)・実演にて確認し、追加解説にて不足を補います。

#### 中間試験評価方法・評価基準

授業での質問・筆記・実演にて判断。それぞれの理解の度合いを評価します。出席40%、平常点20%、試験40%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧旋律的短音階 Melodic Minor 1／マイナーコードの上でメロディックマイナー中心のメロディづくりを練習します。
- ⑨旋律的短音階 Melodic Minor 2／上記練習を土台にⅡ7やV 7 alt、VII ♫ 7 (#11)などのシチュエーションでメロディックマイナーを使用する練習をします。
- ⑩これまでの手法の統合／これまで身につけた各技法を統合したアドリブラインを、譜面上で作成し、それを評価と解説し理解を深める。
- ⑪これまでの手法の統合 2／上記譜面を再制作し、習得度を確認。同時に演奏し、その譜面にマッチした吹き方やリズムなどの最適解などを探ります。
- ⑫これまでの手法の統合 3／上記技法統合をスローテンポながらもリアルタイムで演奏し訓練。情報処理速度の向上を目指します。
- ⑬夏休み明けの進歩確認／上記技法統合のスピードを長期休暇中にどれだけアップできたかを確認します。
- ⑭模擬試験と採点／次週行う上記技法統合の筆記提出、提出譜面演奏、リアルタイム即興実演の模擬試験を行います。
- ⑮譜面提出と実演(試験)／技法統合の筆記提出、提出譜面演奏、リアルタイム即興実演。

#### 期末試験評価方法・評価基準

理解度、習得度を重要視し採点。即興実技は多少のテンポダウンを許可しますが、実際のジャムセッション・ライブでも授業で身につけた技術を発揮できかどうかを審査します。出席40%、平常点20%、試験40%

#### 特記事項

学科名	ジャズポピュラー学科
科目名	インプロヴィゼーションⅢ
担当講師名	寺屋ナオ
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	ギター

#### 担当科目に関する実務経歴

講師はギター奏者としての演奏活動、作編曲家としての作編曲提供の実務経験を持ちます。

#### 授業内容

この科目では、様々なコード進行の上でのメロディの作り方(ソロの取り方)を学びます。1Q は昨年度の続きでマイナーキィのコード進行でのソロを学びます。2Q はクロマチックアプローチを活用したソロを学習します。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

1Q は、短調(Minor key)での代理コード(テンションノート)を活用できるようになることが目標です。2Q は、クロマチックアプローチを使って、より Bebop 的なメロディーを作れるようになることが目標です。

#### 授業計画（1回目から 7回目）

- ①Key=Cmin 上でコードの機能に注目し、代理コードのコードトーンを使い、テンションノートを活用したソロアプローチを学びます。
- ②Key=Fmin 上でコードの機能に注目し、代理コードのコードトーンを使い、テンションノートを活用したソロアプローチを学びます。
- ③Key=Bbmin 上でコードの機能に注目し、代理コードのコードトーンを使い、テンションノートを活用したソロアプローチを学びます。
- ④Key=Ebmin 上でコードの機能に注目し、代理コードのコードトーンを使い、テンションノートを活用したソロアプローチを学びます。
- ⑤Key=G#min 上でコードの機能に注目し、代理コードのコードトーンを使い、テンションノートを活用したソロアプローチを学びます。

⑥Key=C#min 上でコードの機能に注目し、代理コードのコードトーンを使い、テンションノートを活用したソロアプローチを学びます。

⑦実技試験実施します。指定したコード進行でソロをとってもらい、授業の理解度を評価します。

#### 中間試験評価方法・評価基準

連続性の高い授業なので、出席を重視して採点します。採点の比率は下記参照。

実技試験は、指定したコード進行でソロをとってもらい、授業の内容をふまえたソロを演奏できるか、で評価します。

出席:60% 筆記試験:40%

#### 授業計画（8回目から15回目）

⑧クロマチック(半音階)を活用したソロアプローチ、クロマチックアプローチの基本コンセプトを学びます。

⑨コードトーンに対するシングルクロマチックを活用したソロアプローチを学びます。

⑩コードトーンに対するダブルクロマチックを活用したソロアプローチを学びます。

⑪二つのシングルクロマチックを組み合わせたを活用したソロアプローチをを学びます。

⑫シングルとダブルクロマチックを組み合わせたを活用したソロアプローチを学びます。

⑬ダブルとシングルクロマチックを組み合わせたを活用したソロアプローチを学びます。

⑭二つのダブルクロマチックを組み合わせた音形を活用したソロアプローチを学びます。

⑮実技試験を実施します。指定したコード進行上でソロをとってもらい、その内容で評価します。

#### 期末試験評価方法・評価基準

連続性の高い授業なので出席を重視し、採点します。採点の比率は下記参照。

実技試験は、指定したコード進行でソロをとってもらい授業の理解度を図ります。

出席:60% 筆記試験:40%

#### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	インプロヴィゼーションⅢ
担当講師名	石田衛
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	ピアノ&キーボード

#### 担当科目に関する実務経歴

講師は国内外の様々なジャズミュージシャンとのライブ、ツアーや、レコーディングの経験を持ちます。

#### 授業内容

インプロヴィゼーションⅠとⅡで学んだ事を更に進め、頻繁に転調する曲や無調なコード進行上で即興演奏する方法を学びます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

複雑なコード進行を的確に解釈し、その進行にフィットしたメロディーを即興的に創造する。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①顔合わせ授業内容の説明
- ②Upper Manhattan Medical Group（転調の多い曲）
- ③Upper Manhattan Medical Group（転調の多い曲）
- ④Milestones(old)（転調の多い曲）
- ⑤Milestones(old)（転調の多い曲）
- ⑥Con Alma（転調の多い曲）
- ⑦Con Alma（転調の多い曲）

#### 中間試験評価方法・評価基準

授業内容の理解、取り組み方で評価します。また、連続性のある内容なので出席も重視します。

授業計画（8回目から15回目）

- ⑧Turn Out The Stars (転調の多い曲)
- ⑨Turn Out The Stars (転調の多い曲)
- ⑩Humpty Dumpty (無調)
- ⑪Humpty Dumpty (無調)
- ⑫Giant Steps
- ⑬26-2
- ⑭Very Early
- ⑮まとめ

期末試験評価方法・評価基準

授業内容の理解、取り組み方で評価します。また、連続性のある内容なので出席も重視します。

特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	インプロヴィゼーションⅢ
担当講師名	山本裕之
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	ベース

#### 担当科目に関する実務経歴

ジャズピアニスト山中千尋の Trio ベーシストとして NHK 総合「あさイチ」、テレビ朝日『題名のない音楽会』、BS ジャパン「おんがく交差点」等に出演。多くのジャズライブ、レコーディングに参加している

#### 授業内容

ジャズ・スタンダードを題材に、 Bass line や Solo の創り方を学びます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

題材にしたジャズ・スタンダードを実際に演奏してスムーズに Bass line が作れること。また Solo ではメジャー、マイナー II-V、ショート II-V、サブドミナントマイナー、Turn around のリック等を、自分なりのフレーズでアウトプットしていくことを目標とします。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①Confirmation を題材にして、様々な walking bass のアプローチを学びます。
- ②2拍ずつコードがチェンジする Major, Minor のショート II-V ソロの作り方、リックを学びます。
- ③Major, Minor ショート II-V で学んだソロの作り方を実際に演奏してアウトプットしていきます。
- ④2拍ずつコードがチェンジするショート II-V ソロの作り方を学びます。また II7 の音使いも学びます。
- ⑤Major, Minor ショート II-V で学んだソロの作り方を実際に演奏してアウトプットしていきます。
- ⑥Confirmation を題材にして、Long Major II-V のソロの作り方、リックを学びます。
- ⑦試験。Confirmation 実演

### 中間試験評価方法・評価基準

演奏内容（スムーズに Bass line を作れること、ショート II-V で Solo が作れること）及び授業での取り組みで評価します。連動性のある内容なので、出席も重視します。

### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧The Days of wine&roses を題材にサブドミナントマイナーの機能や、音使いを学びます。
- ⑨サブドミナントマイナーで学んだ機能や音使いを実際に演奏してアウトプットしていきます。
- ⑩Dario Deidda の Donna Lee のソロを題材に、主に II7、I7、の音使いを学びます。
- ⑪Donna Lee を題材に、主に II7、I7、の音使いを意識しながら、実際に演奏していきます。
- ⑫Dario Deidda の Donna Lee のソロを題材に、主に SD m の音使いを学びます。
- ⑬Donna Lee を題材に、主に SD m、II7 の音使いを意識しながら実際に演奏していきます。
- ⑭Donna Lee を題材に、II-V、Turn around、II7、ディミニッシュの音使いを学びます。
- ⑮スムーズに Bass line や Solo が作れること、取れる事を評価のポイントとします。

### 期末試験評価方法・評価基準

演奏内容（スムーズに Bass line を作れること、II-V、II7、SD m、Turn around で Solo が造れること）、及び授業での取り組みで評価します。連動性のある内容なので、出席も重視します。

### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	インプロヴィゼーションⅢ
担当講師名	山村牧人
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	ドラム

#### 担当科目に関する実務経歴

1982年より演奏活動開始。今日に至るまで自主企画ライブ、アーティスト・サポート、レコーディング、楽器制作、演奏データ制作、リズムアレンジの書籍出版等の演奏及び関連制作業務。並行して1990年以降、楽器店でのドラムレッスンや講師の委託を受け、92年からドラム専門誌へのセミナー記事連載を開始し、20年以上の連載と自著ドラム教則本の出版多数。本校では93年からDTMの講師として、プロミュージシャン学科発足からドラム講師として勤務。

#### 授業内容

様々なジャンルに用いられるドラムセットという楽器のルーツや、楽曲の中での音楽的機能を考察しながらエクササイズ演習を行います。奏法の基礎、ジャンルやスタイルを特徴づける根源的因素を理解、習得します。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

演奏事例からドラミングのコンセプトを取り出して習得し、アンサンブルやバンドなど、自分自身の演奏の基礎、応用、オリジナリティへと役立てることを目標とします。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①奏法の再確認／グリップ、フォーム、ペダル奏法、身体の動きについて、セオリーと自己流の範疇を確認します
- ②タイムの確認／リズムパターンやフレーズの元となる音符のタイミングの確認
- ③ダイナミクスとタッチ／音量表現と音色表現。ステイック＆ペダルのストローク・スピードの加減速
- ④リズム・フィールの考え方／音楽ジャンルと、リズム・フィールのカテゴライズの違いを理解し、リズムパターンという考え方とフィールやグルーヴの捉え方へ展開
- ⑤コンビネーション演習（1）／4th～8th音符を使った、4肢のコンビネーション・トレーニング
- ⑥コンビネーション演習（2）／コンビネーション・フレーズにダイナミクスと音色表現を加えたトレーニング
- ⑦クオーター試験：スネア・チュード／簡単なスネアエチュードに、セットドラミン

グのオステイナートを加えて演奏します

### 中間試験評価方法・評価基準

授業での平常点を主として、試験演奏に現れる習得度や練習の達成度を加えて評価します。  
試験点：30% ／ 平常点：50% ／ 出席点：20%

### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧手順の考察と、手順によるドラミング展開 ／ 手順によるグルーピングとセット上の展開、リアルタイムの即興応用の演習
- ⑨メカニズムとテクニックの違い ／ 手順やコンビネーションなど奏法の根底にあるメカニズムと、そこから組み立てるテクニックの考え方
- ⑩チューニング考察 ／ 奏法とチューニング、音楽ジャンルとチューニング、ドラムセットの性能とチューニングについて視点を学びます
- ⑪ロック系コンビネーション・ドラミング（1）／ バックビート・スタイルのバリエーションと手足のコンビネーションのコンセプトの理解と演習
- ⑫ロック系コンビネーション・ドラミング（2）／ プログレッシヴ・アプローチとスピード&パワーの紹介と導入
- ⑬ファンク系コンビネーション・ドラミング（1）／ Swingの高速化とハーフタイム、16th note feelへの転換。実践的なバスドラムのバリエーション演習
- ⑭ファンク系コンビネーション・ドラミング（2）／ スリップ・ビート、リニア系のテクニカル系トピックを使ったパターン演習
- ⑮学期末試験：バックビートスタイルの展開 ／ 8th～16thのスタイルを混在展開させた実技演奏

### 期末試験評価方法・評価基準

ジャンルとそのテクニックへの理解度、奏法コンセプトの習得度を実技評価します。  
試験点：30% ／ 平常点：50% ／ 出席点：20%

### 特記事項

※学生の習熟度によって内容や方法論は適宜変更調整していきますが、基本となる目標は変わりません。

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	インプロヴィゼーションIII
担当講師名	須田晶子
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	ジャズヴォーカル

#### 担当科目に関する実務経験

講師は様々な場所でのライブコンサート、アルバム制作、ジャズスクールでの講師指導経験を持ちます。

#### 授業内容

ジャズ&ポピュラーにおけるボーカルテクニックやボーカリストとしての必要な要素を曲を交えながら研究し習得する学習です。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

発声法、発音方法、様々な技術を習得し、自分自身が自分のスタイルや嗜好を見つけ、どんな状況でも対応し、自分なりの表現をできることを目指します。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① 元々がインストゥルメンタルの曲などインターバルが難しい曲を研究します。
- ② 元々がインストゥルメンタルの曲などインターバルが難しい曲を研究します。
- ③ Jazz のスイング曲を用いてリズムについてより深く研究します。
- ④ Jazz のスイング曲を用いてリズムについてより深く研究します。
- ⑤ イントロやエンディングでよく用いられるコード進行の中でインプロヴィゼーションを練習します。
- ⑥ 自分の今出来る最大限の要素を交えて演奏してみます。
- ⑦ 今まで学んできたことをできる限り発揮できるようなパフォーマンスをします。

#### 中間試験評価方法・評価基準

学ぶ意欲が感じられること、出席数、少しでもステップアップ出来ているかを主に評価します。

### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧歌詞がつかない曲(voice)、シラブルなども含めて研究します。
- ⑨歌詞がつかない曲(voice)、シラブルなども含めて研究します。
- ⑩一緒に演奏する人たちへの大切な心得と演奏方法を学びます。
- ⑪一緒に演奏する人たちへの大切な心得と演奏方法を学びます。
- ⑫自分がチャレンジだと思う&心から歌いたい曲を極めます。
- ⑬自分がチャレンジだと思う&心から歌いたい曲を極めます。
- ⑭ステージングも含めて、自分の今出来る最大限の要素を交えて演奏してみます。
- ⑮今まで学んできたことをできる限り発揮できるようなパフォーマンスをします。

### 期末試験評価方法・評価基準

学ぶ意欲が感じられること、出席数、少しでもステップアップ出来ているかを主に評価します。

### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	インプロヴィゼーションIV
担当講師名	宮本裕史
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	金管楽器

#### 担当科目に関する実務経歴

この科目では講師の実務経験(ジャズオーケストラのソリスト、セクションプレイヤー、コンボ編成での奏者経験や作・編曲家としての活動)に基づき、ジャズ&ポピュラーにおける金管楽器での多様なアドリブスタイルを習得するための学習です。

#### 授業内容

1年時に身につけた技法の洗練と新たな手法の導入を並行して行います。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

ビバップスタイルを基礎にした単音楽器での即興的メロディ創造表現を実現するため、ドミナントモーションの分散和音的表現と音階的表現、そしてアプローチノート各種の習得を目指します。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①ダブルタイムとアップテンポ 1／現在得ている技術を総合し、自分の能力、自分の楽器の特性の中で無理のない範囲の高速フレーズを制作します。
- ②ダブルタイムとアップテンポ 2／前週の制作フレーズの練習や応用。そしてさらに同様な制作作業をします。
- ③ダブルタイムとアップテンポ 3／制作した高速フレーズの拍打らし、連結、即興微調整を訓練します。
- ④バラード 1／前週までの応用で、バラードでの2倍、4倍テンポでのアドリブを。伴奏と違うビート階層で演奏する手法を学びます。
- ⑤バラード 2／バラードにおける様々な音価を使うメロディアスなアドリブ。多様なインターバルの魅力を応用した旋律作りをします。
- ⑥バラード 3／バラードにおける様々な手法を総合的にあつかいソロの成立と多様性の獲得を目指します。
- ⑦カラオケを使ったセッション(試験)／期末試験として、オーソドックスな曲を8曲ほど事前に決めておき、それをジャムセッション的にアドリブ合戦してみます。

### 中間試験評価方法・評価基準

各技法の偏りは問題とせず、講師が個々の生徒の演奏をソリストとして魅力を感じたかどうか、どれくらい魅力を感じたかを重視し評価します。明らかな間違いや重度の理解不足を見つける限り減点はしません。出席40%、平常点20%、試験40%

### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧Caravan／V 7でのsus4、Combination of Diminished、Alteredの実践的な使用を研究します。
- ⑨3拍子／3拍子でのアドリブを様々な曲を題材に演習します。
- ⑩ディレクションとサジェスチョン／アドリブ中の合図の発信と受信、そしてその項目について研究します。
- ⑪冬休み明けの進歩確認／アドリブにおける情報処理速度を長期休暇中にどれだけアップできたかを確認します。
- ⑫無伴奏／無伴奏でも成立するソロや管楽器同士のデュオでのアドリブの実現を目指します。
- ⑬無伴奏とインターイプレイ／モチーフの模倣や定石的掛け合いなどを多用したリレーを、数小節単位でソロ交代をし続けます。
- ⑭模擬試験と採点／次週行うジャズ曲アドリブの筆記提出、提出譜面演奏、リアルタイム即興実演の模擬試験を行います。曲は選択自由。
- ⑮譜面提出と実演(試験)／ジャズ曲アドリブの筆記提出、提出譜面演奏、リアルタイム即興実演。

### 期末試験評価方法・評価基準

各技法の偏りは問題とせず、講師が個々の生徒の演奏をソリストとして魅力を感じたかどうか、どれくらい魅力を感じたかを重視し評価します。明らかな間違いや重度の理解不足を見つける限り減点はしません。出席40%、平常点20%、試験40%

### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	インプロヴィゼーションIV
担当講師名	寺屋ナオ
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	ギター

#### 担当科目に関する実務経歴

講師はギター奏者としての演奏活動、作編曲家としての作編曲提供の実務経験を持ちます。

#### 授業内容

この科目では、様々なコード進行の上でのメロディの作り方(ソロの取り方)を学びます。3Q はモードを活用したアプローチを学習します。4Q は 3Q の内容をコード進行上で応用するソロを学習します。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

3Q はモードを的確に表すメロディを弾けるようになることが目標です。4Q は、それを特定のコード進行で応用出来るようになることが目標です。

#### 授業計画（1回目から 7回目）

- ①Chordal と Modal の違いについて学びます。
- ②Lydian Mode 上でのソロアプローチについて学びます。
- ③Mixolydian Mode 上でのソロアプローチについて学びます。
- ④Dorian Mode 上でのソロアプローチについて学びます。
- ⑤Phrigian Mode 上でのソロアプローチについて学びます。
- ⑥Aeolian Mode 上でのソロアプローチについて学びます。
- ⑦実技試験を実施します。主音を C に固定して、授業で学んだモードのうち幾つかを演奏してもらい、授業の理解度を評価します。

#### 中間試験評価方法・評価基準

連続性の高い授業なので、出席を重視して採点します。採点の比率は下記参照。  
実技試験は、主音を C に固定し授業内で学んだモードのうち幾つかを活用して演奏してもらい、その内容が授業に沿っているか、で評価します。  
出席:60% 筆記試験:40%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧Ionian Mode 上でのソロアプローチについて学びます。
- ⑨Aeolian Mode 上でのソロアプローチについて学びます。
- ⑩コード進行上で、モーダルなソロアプローチを応用する方法を学びます。
- ⑪引き続きモーダルソロの応用を学びます。各 Mode 上のペントナミックスケールに注目します。
- ⑫引き続きモーダルソロの応用を学びます。各 Mode 上のクサトニックに注目します。
- ⑬ディミニッシュスケールやホールトーンスケールを活用したソロアプローチを学びます。
- ⑭様々なソロアプローチを再度見直し、自分のソロスタイルを考えます。
- ⑮実技試験を実施します。指定したコード進行でソロをとってもらい、授業の理解度を評価します。

#### 期末試験評価方法・評価基準

連続性の高い授業なので、出席を重視して採点します。採点の比率は下記参照。  
実技試験は、指定したコード進行でソロをとってもらい、一年間を統括した内容であるか、で評価します。前期同様に出席を重視します。  
出席:60% 筆記試験:40%

#### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	インプロヴィゼーションIV
担当講師名	石田衛
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	ピアノ&キーボード

#### 担当科目に関する実務経歴

講師は国内外の様々なジャズミュージシャンとのライブ、ツアーや、レコーディングの経験を持ちます。

#### 授業内容

インプロヴィゼーション I ~IIIで学んだ事を生かしながら、安定したリズムで演奏する方法と、伴奏（コンピング）について学びます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

難易度の高い楽曲、または簡素な楽曲どちらに於いても、的確で説得力のある即興演奏をする。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①ストライド奏法
- ②ストライド奏法
- ③ストライド奏法
- ④スローブルース
- ⑤ブギウギ
- ⑥Medium Swing
- ⑦Fast Swing

#### 中間試験評価方法・評価基準

授業内容の理解、取り組み方で評価します。また、連続性のある内容なので出席も重視します。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧コンピング 1(medium swing)
- ⑨コンピング 2 (slow swing)
- ⑩コンピング 3(fast swing)
- ⑪コンピング 4(ballad)
- ⑫コンピング 5(bossa nova)
- ⑬ギタリストとの共存
- ⑭ドramaーと合わせるリック
- ⑮まとめ

#### 期末試験評価方法・評価基準

授業内容の理解、取り組み方で評価します。また、連続性のある内容なので出席も重視します。

#### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	インプロヴィゼーションIV
担当講師名	山本裕之
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	ベース

#### 担当科目に関する実務経歴

ジャズピアニスト山中千尋の Trio ベーシストとして NHK 総合「あさイチ」、テレビ朝日『題名のない音楽会』、BS ジャパン「おんがく交差点」等に出演。多くのジャズライブ、レコーディングに参加している

#### 授業内容

solo の創り方や、各ジャンルのグルーヴ・スタイルを理解する事を目標とします。また即興力を身に付ける事を目標とします。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

題材にしたジャズ・スタンダードを実際に演奏して walking bass の組み立て方や、Solo のアプローチ、各ジャンルのグルーヴ・スタイルを理解する事を目標とします。また即興力を身に付ける事を目標とします。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①Rhythm change(循環コード)を題材に walking bass の組み立て方を学びます。
- ②Rhythm change(循環コード)を題材に Solo の組み立て方を学びます。
- ③Easy living、It could happen to you を題材に、ディミニッシュの意味を学びます。
- ④Easy living、It could happen to you を演奏してアウトプットしていきます。
- ⑤3拍子(Someday my prince will come)での walking, Solo を学びます。
- ⑥Bye bye blackbird、Caravan を題材に同じコードが続く場合の Solo を学びます。
- ⑦試験。3クオーターで取り上げた曲を題材に様々な Bass line が創れることを評価のポイントとします。

#### 中間試験評価方法・評価基準

演奏内容（3 クオーターで取り上げた曲を題材に、様々なバリエーションの walking bass.Solo を造れること）及び授業での取り組みで評価します。連動性のある内容なので、出席も重視します。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧イパネマの娘を題材に Bossa Nova のリズムパターン、Solo を学びます。
- ⑨One Note Samba を題材に Samba のリズムパターン、Solo を学びます。
- ⑩Partido Alto を題材に Partido Alto のリズムパターン、Bass line を学びます。
- ⑪アフロ・キューバン・スタイルの Bass line を、コード進行のある中で応用できるよう学びます。
- ⑫ジャズにおけるラテン(Night in Tunisia)でのリズムパターン、Solo を学びます。
- ⑬ジャコ・パストリアス・スタイルの Funk 16Baet を、コード進行のある中で応用できるよう学びます。
- ⑭ジェームス・ジェマーソンやウィリー・ウィークスのスタイルで bounce 16Baet を学びます。
- ⑮試験。各スタイルの Bass line、Solo が創れることを評価のポイントとします。

#### 期末試験評価方法・評価基準

演奏内容（各ジャンルのグルーヴ・スタイルを理解し、様々なバリエーションでスムーズに伴奏、Solo を組み立てること。）及び授業での取り組みで評価します。連動性のある内容なので、出席も重視します。

#### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	インプロヴィゼーションIV
担当講師名	山村牧人
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	ドラム

#### 担当科目に関する実務経歴

1982年より演奏活動開始。今日に至るまで自主企画ライブ、アーティスト・サポート、レコーディング、楽器制作、演奏データ制作、リズムアレンジの書籍出版等の演奏及び関連制作業務。並行して1990年以降、楽器店でのドラムレッスンや講師の委託を受け、92年からドラム専門誌へのセミナー記事連載を開始し、20年以上の連載と自著ドラム教則本の出版多数。本校では93年からDTMの講師として、プロミュージシャン学科発足からドラム講師として勤務。

#### 授業内容

ドラムセットのルーツをたどり、黒人の歴史、ニューオーリンズ・ビートやアフロ6/8ポリリズム、ベーシックなジャズ・ドラミングからロックやファンクへの進化まで、ポピュラー・リズムの源泉を演習します。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

様々なスタイルの誕生の礎を知ることで、オリジナルであることの意義を感じて演奏できることを目指します。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①アドバンス・ストローク ／ モーラー奏法、グラッドストーン奏法の背景、メカニズムの理解と導入
- ②ニューオーリンズ・スタイル（1）／ 黒人の歴史と、ニューオリンズで生まれたセカンドラインのスネア奏法
- ③ニューオーリンズ・スタイル（2）／ ドラムセットでのセカンドライン・スタイルとロック・ドラミングへの展開
- ④ニューオーリンズ・スタイル（3）／ テクニカルな要素を含んだコンテンポラリーなセカンドライン・ドラミングのアイデア
- ⑤コール&レスポンス ／ 2人以上のアンサンブルによるコール&レスポンスの理解とリズム・アンサンブル演習
- ⑥アフロ6/8ポリリズム ／ 6／8ナニーゴなどアフロ系ポリリズムと打楽器メロディによるドラミング演習

⑦クオーター試験：変拍子、混合拍子 ／ 同一テンポで複数の拍子を混合して実技演奏

#### 中間試験評価方法・評価基準

伝統的なスタイルとそのフィーリング、サウンドの再現を評価します。

試験点：30% ／ 平常点：50% ／ 出席点：20%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ジャズ・ドラミング（1）／ ドラムセット誕生の歴史とベーシックなSwingスタイルの紹介とシンバルレガートの演習
- ⑨ジャズ・ドラミング（2）／ ジャズ・ドラミングのシンコペーション・アプローチとコンピング
- ⑩ジャズ・ドラミング（3）／ ハイハットのレガートやタム・グルーブ、ブロークンレガートなどのバリエーション
- ⑪ドラム・ソロ／ ドラム・ソロの実例、考え方とパート作り
- ⑫フィール・チェンジ（3）／ 既存のスタイルに限らない、スタイルやリズムフィールの混在と実験的考察
- ⑬オリジナルなドラム・アンサンブル／ スタイル、拍子、ジャンルなど複数の要素とオリジナル性を目指した、ドラム・アンサンブル・エチュードの作成
- ⑭オリジナル・エチュード演習／ 本学期に演習した奏法を盛り込んだドラム・パート譜に基づいた実技演奏の準備
- ⑮クオーター試験：オリジナルエチュードの演奏／ 本クオーターで作成したオリジナルなエチュードを自信で実技演奏

#### 期末試験評価方法・評価基準

オリジナルな演奏を目指して、どのような課題を設定し演奏したかを評価します。

試験点：30% ／ 平常点：50% ／ 出席点：20%

#### 特記事項

※学生の習熟度によって内容や方法論は適宜変更調整していくますが、基本となる目標は変わりません。

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	インプロヴィゼーションIV
担当講師名	須田晶子
学期	秋
授業の形態	講義
専攻/楽器/グレード等	ジャズヴォーカル

#### 担当科目に関する実務経験

講師は様々な場所でのライブコンサート、アルバム制作、ジャズスクールでの講師指導経験を持ちます。

#### 授業内容

ジャズ&ポピュラーにおけるボーカルテクニックやボーカリストとしての必要な要素を曲を交えながら研究し習得する学習です。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

発声法、発音方法、様々な技術を習得し、自分自身が自分のスタイルや嗜好を見つけ、どんな状況でも対応し、自分なりの表現をできることを目指します。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①ビバップの曲を選び、好きなソリストのソロをコピーします。そこから学べる音階やアーティキュレーションを学び、実際に違う曲を歌うときにもその要素を活かせるように研究します。
- ②ビバップの曲を選び、好きなソリストのソロをコピーします。そこから学べる音階やアーティキュレーションを学び、実際に違う曲を歌うときにもその要素を活かせるように研究します。
- ③コンテンポラリーミュージシャンに対する研究と理解。
- ④コンテンポラリーミュージシャンに対する研究と理解。
- ⑤学生みんなの意見を聞きながら私が曲指定をします。その曲を極めましょう。
- ⑥学生みんなの意見を聞きながら私が曲指定をします。その曲を極めましょう。
- ⑦今まで学んできたことをステージングも含め、しっかりと発揮できるようなパフォーマンスをします。

#### 中間試験評価方法・評価基準

学ぶ意欲が感じられること、出席数、少しでもステップアップ出来ているかを主に評価します。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧スタンダードの曲でジャズ的なフレーズを用いて自分のスキャットを研究します。
- ⑨スタンダードの曲でジャズ的なフレーズを用いて自分のスキャットを研究します。
- ⑩変拍子の曲を練習します。
- ⑪変拍子の曲を練習します。
- ⑫みんなの今後のプランを聞きつつ、それに必要な内容を確認し研究します。
- ⑬学生みんなの意見を聞きながら私が曲指定をします。その曲を極めましょう。
- ⑭学生みんなの意見を聞きながら私が曲指定をします。その曲を極めましょう。
- ⑮最後の集大成です。今まで学んできたことをステージングも含め、しっかりと発揮できるようなパフォーマンスをします。

#### 期末試験評価方法・評価基準

学ぶ意欲が感じられること、出席数、少しでもステップアップ出来ているかを主に評価します。

#### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	スタイルアンサンブルⅢ
担当講師名	遠山拓志
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

講師はコンサートツアー、レコーディング、アレンジ及び譜面作成、ミュージックプログラミングの実務経験があります。

#### 授業内容

主にパート譜面を使用した、ラージアンサンブル形式の授業です。  
スタンダード曲をはじめ、様々なジャンルの楽曲にチャレンジします。  
クオーター毎に行われるライブ形式の試験に向けて、アレンジを加えながら完成させていきます。エンターテインメント性やパフォーマンス等も重要になります。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

演奏可能曲を増やすよう個人技術の向上、アンサンブル力の向上を目指します。  
MCを含め、総合的に楽しいステージングが出来るように頑張りましょう。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①ガイダンス：顔合わせ、授業内容の説明、まずはセッションしてみよう。
- ②Now's the Time:セッションに慣れる
- ③1クオーター試験に向けて選曲し演奏してみる。
- ④Feel Like Makin' Love:Kid Jordan:Grazin' In The Grass:One more Once(前年例)
- ⑤Feel Like Makin' Love:Kid Jordan:Grazin' In The Grass:One more Once(前年例)
- ⑥Feel Like Makin' Love:Kid Jordan:Grazin' In The Grass:One more Once(前年例)
- ⑦中間試験：Live形式で発表

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席率、向上心、積極性、授業態度、課題の消化率等の平常点と  
実技試験の内容で総合的に判断します。  
出席：30%平常点：30%試験 40%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ガイダンス：1 クオーター試験の復讐、反省点の確認
- ⑨ 2 クオーター試験に向けて選曲し演奏してみる。
- ⑩Got to be Real:Orange Sherbet:The Chicken:Candy(前年例)
- ⑪Got to be Real:Orange Sherbet:The Chicken:Candy(前年例)
- ⑫Got to be Real:Orange Sherbet:The Chicken:Candy(前年例)
- ⑬Got to be Real:Orange Sherbet:The Chicken:Candy(前年例)
- ⑭Got to be Real:Orange Sherbet:The Chicken:Candy(前年例)
- ⑮期末試験：Live 形式で発表

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席率、向上心、積極性、授業態度、課題の消化率等の平常点と実技試験の内容で総合的に判断します。

出席：30% 平常点：30% 試験 40%

#### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	スタイルアンサンブルⅢ
担当講師名	宮崎 明生
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師は長年に渡り録音業界やサポートミュージシャンとして携わって来た経験が有ります。又多ジャンルでの音楽制作、作編曲の実績も多数有ります。

#### 授業内容

色々なジャンル・スタイルの楽曲を演奏する事を通して、アンサンブルの基礎を学びます。様々なスタイルに合ったプレイスタイル、テクニックを学び、アドリブプレイに必要なジャズポピュラー理論や、実際使うフレーズ集も含め学習して行きます。  
履修学生の楽器編成、ボーカルの有り無しで取り上げる楽曲も変更があります。  
学生からの曲リクエストも隨時受け付けます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

クローザー末のアンサンブル試験に向け、パフォーマンス含めてミニライブステージをやって行きます。見る者を引き付ける演奏技術、テンポ良いステージ MC、精度の高いアンサンブルを目指し、ダイナミクスに富んだ「魅せる」ステージングを全員で目指しましょう！

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① 自己紹介&ジャズポピュラーの楽曲の演奏（例：I Can't Turn You Loose）
- ② ジャズポピュラーの楽曲の演奏（例：My Mama Told Me So）
- ③ ジャズポピュラーの楽曲の演奏（例：Samba Do Marcos）
- ④ ジャズポピュラーの楽曲の演奏（例：Canptain Caribe）
- ⑤ ジャズポピュラーの楽曲の演奏（例：You make me feel brand new）
- ⑥ 秋学期でやった曲の中から試験発表に向けて本番に向けてステージ練習。
- ⑦ ゲネプロ

#### 中間試験評価方法・評価基準

1Q 末試験ライブに向けて、チーム一丸となって総合的にパフォーマンス力がアップしているかチェックします。全員とのアイコンタクトがしっかりと出来ているかチェックします。

(暗譜推奨です！) 勢いの有るステージングを目指します。  
評価基準：出席 45% 平常点 45% 試験 10%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ ジャズポピュラーの楽曲の演奏（例：Carnaval）
- ⑨ ジャズポピュラーの楽曲の演奏（例：Get it on）
- ⑩ ジャズポピュラーの楽曲の演奏（例：Getaway）
- ⑪ ジャズポピュラーの楽曲の演奏（例：La Yellow Head）
- ⑫ ジャズポピュラーの楽曲の演奏（例：Bobs Jazz）
- ⑬ ジャズポピュラーの楽曲の演奏（例：雪の華）
- ⑭ 秋学期でやった曲の中から試験発表に向けて本番に向けてステージ練習。
- ⑮ ゲネプロ

#### 期末試験評価方法・評価基準

2Q 末試験ライブに向けて、チーム一丸となって総合的にパフォーマンス力がアップしているかチェックします。全員とのアイコンタクトがしっかり出来ているかチェックします。  
(暗譜推奨です！) 勢いの有るステージングを目指します。  
評価基準：出席 45% 平常点 45% 試験 10%

#### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	スタイルアンサンブルIII
担当講師名	菅原潤子
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はライブツアーサポート等の実績を積んでいます。

#### 授業内容

様々な楽曲に取り組む中で、アンサンブル力を養っていきます。  
1年間を通して、バンドとしても切磋琢磨し成長していきましょう。  
※楽器の編成によって、楽曲は都度変更の可能性あり。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

アンサンブル試験において、ライブステージを意識したステージング、MC 等が出来るようになります。

#### 授業計画（1回目から 7回目）

- ① 自己紹介。授業内容の説明。
- ② Them Change
- ③ Get Up (I Feel Like Being A) Sex Machine
- ④ Pick Up The Pieces
- ⑤ MC 等も含めて試験に向けて流れを作って行きます。
- ⑥ 通しリハーサル
- ⑦ アンサンブル試験（ライブ形式）

#### 中間試験評価方法・評価基準

授業の出席率、自主性、協調性。試験では、ライブステージを意識したステージング、MC 等。

出席：50% 平常点：25% 試験：25%

#### 授業計画（8回目から 15回目）

- ⑧ 1 クオーター試験の反省会。授業内容の説明。
- ⑨ Starting Too Slow
- ⑩ September
- ⑪ Thank You (Falettinme Be Mice Elf Agin)
- ⑫ MC 等も含めて試験に向けて流れを作って行きます。
- ⑬ 通シリハーサル
- ⑭ 通シリハーサル
- ⑮ アンサンブル試験（ライブ形式）

#### 期末試験評価方法・評価基準

授業の出席率、自主性、協調性。試験では、ライブステージを意識したステージング、MC 等。

出席：50% 平常点：25% 試験：25%

#### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	スタイルアンサンブルⅢ
担当講師名	笠原 康弘
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

バークリー音楽院パフォーマンス科卒業後、歌手、シンガーのバックバンド、自己のバンド等において長い演奏経験を持っています。

#### 授業内容

学生の希望する楽曲を編成に合わせてアレンジし、アンサンブルを完成させていく授業です。以下の授業計画は過去の授業の例です。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

簡単そうな曲でも突き詰めると奥深いものがあります。完全コピーして間違えないというのは最初の段階。チームプレイ、インタープレイ、アドリブの持って行き方、エンターテイメント性、オリジナリティー、バンド内の頼れる人物になれるかなど、色々な要素を知ってもらえば、と思います。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① (以下過去の講義内容) Shirokuma アンサンブルに慣れる。
- ② RED BARON キューの出し方など
- ③ スケール・理論・アレンジ・サイズ調整・イントロ・アウトロなど
- ④ アベイラブルノートスケールや使用方法など
- ⑤ Slaphappy ファンクの理解
- ⑥ スケール・理論・アレンジ・サイズ調整・イントロ・アウトロなど
- ⑦ イントロやアウトロの付け方

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席率を重視します。その他授業への取り組み方などが評価対象です。

出席：50% 平常点：30% 試験：20%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ Trains ダイナミクスを出して単調さからの脱却
- ⑨ Someday my prince will come ポリリズムに慣れる。
- ⑩ スケール・理論・アレンジ・サイズ調整・イントロ・アウトロなど
- ⑪ スケール、アドリブについて
- ⑫ Speed of Love
- ⑬ キメを合わせる練習、主張するソロの作り方など
- ⑭ スケール・理論・アレンジ・サイズ調整・イントロ・アウトロなど
- ⑮ アレンジによって変化を出す方法

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席率を重視します。その他授業への取り組み方などが評価対象です。  
出席：50% 平常点：30% 試験：20%

#### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	スタイルアンサンブルⅢ
担当講師名	須田晶子
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経験

講師は様々な場所でのライブコンサート、アルバム制作、ジャズスクールでの講師指導経験を持ちます

#### 授業内容

ボーカルが入ったアンサンブルの基礎を研究していくクラスです。ベーシックなリズム、ビート、メロディ、コード、構成、他の楽器と演奏するとどのようなことが変わってくるのか、アンサンブルで大切なことを見つけていきます

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

それぞれの楽器の技術向上はもちろん、アンサンブルをすることで一人で演奏しているときとは違う自分の役割、バランス、自分の音と人の音を聴く習慣、そして一曲の演奏の流れをみんなで作れるようにします。チームワークの大切さを体感します。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①メンバー自己紹介、授業内容の説明、シンプルな曲で音合わせをします。
- ②歌の伴奏には欠かせないイントロ、エンディングの練習をします。
- ③同じ曲で Swing、Bossa Nova、Ballad などに変えて演奏してみます。
- ④曲が始まり終わるまでの合図などを練習します。
- ⑤曲中にフィールを変える練習をします。
- ⑥曲を決めステージングも含め完成度の高い内容に向けて研究します。
- ⑦実際のライブという意識をもって、3~4曲ステージで演奏します。

#### 中間試験評価方法・評価基準

積極的に授業へ取り組んでいるか、どんな状況でも一緒に演奏する人との音のバランスや意思疎通ができているか、ライブとして意識したステージができているかを見ます。

### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ワルツや6/8などのリズムに慣れる練習をします。
- ⑨歌ものでは欠かせないBalladやVerseの部分のRubatoを練習します。
- ⑩Funk/Soul/R&BなどJazzとはまた違う要素が必要になるグループ感を研究します。
- ⑪Bossa Nova/Sambaなどブラジルの曲を用いて基本的なリズムの特徴を研究します。
- ⑫ストップタイム、ブレイク、リフ、などの深い研究をします。
- ⑬色んな楽器編成のパターンで演奏してどのような変化が自分の演奏に起こるのかをより深く研究します。
- ⑭曲を決めステージングも含め完成度の高い内容に向けて研究します。
- ⑮実際のライブという意識をもって、3~4曲ステージで演奏します。

### 期末試験評価方法・評価基準

積極的に授業へ取り組んでいるか、どんな状況でも一緒に演奏する人との音のバランスや意思疎通ができるか、ライブとして意識したステージができるかを見ます。

### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	スタイルアンサンブルIV
担当講師名	遠山拓志
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

講師はコンサートツアー、レコーディング、アレンジ及び譜面作成、ミュージックプログラミングの実務経験があります。

#### 授業内容

主にパート譜面を使用した、ラージアンサンブル形式の授業です。  
スタンダード曲をはじめ、様々なジャンルの楽曲にチャレンジします。  
クオーター毎に行われるライブ形式の試験に向けて、アレンジを加えながら完成させていきます。エンターテインメント性やパフォーマンス等も重要になります。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

演奏可能曲を増やすよう個人技術の向上、アンサンブル力の向上を目指します。  
MCを含め、総合的に楽しいステージングが出来るように頑張りましょう。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①ガイダンス：2クオーター試験の復讐、反省点の確認
- ②3クオーター試験に向けて選曲し演奏してみる。前期より曲の難易度が上がります。
- ③Chameleon: Get away: White Christmas(前年例)
- ④Chameleon: Get away: White Christmas(前年例)
- ⑤Chameleon: Get away: White Christmas(前年例)
- ⑥Chameleon: Get away: White Christmas(前年例)
- ⑦中間試験：Live 形式で発表

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席率、向上心、積極性、授業態度、課題の消化率等の平常点と  
実技試験の内容で総合的に判断します。  
出席：30% 平常点：30% 試験 40%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ガイダンス：3 クオーター試験の復讐、反省点の確認
- ⑨4 クオーター試験に向けて選曲し演奏してみる。
- ⑩Why Not!:September:All Blues:Close to you:Lovein' you(前年例)
- ⑪Why Not!:September:All Blues:Close to you:Lovein' you(前年例)
- ⑫Why Not!:September:All Blues:Close to you:Lovein' you(前年例)
- ⑬Why Not!:September:All Blues:Close to you:Lovein' you(前年例)
- ⑭Why Not!:September:All Blues:Close to you:Lovein' you(前年例)
- ⑮期末試験：Live 形式で発表

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席率、向上心、積極性、授業態度、課題の消化率等の平常点と実技試験の内容で総合的に判断します。

出席：30% 平常点：30% 試験 40%

#### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	スタイルアンサンブルIV
担当講師名	宮崎 明生
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

講師は長年に渡り録音業界やサポートミュージシャンとして携わって来た経験が有ります。又多ジャンルでの音楽制作、作編曲の実績も多数有ります。

#### 授業内容

色々なジャンル・スタイルの楽曲を演奏する事を通して、アンサンブルの基礎を学びます。様々なスタイルに合ったプレイスタイル、テクニックを学び、アドリブプレイに必要なジャズポピュラー理論や、実際使うフレーズ集も含め学習して行きます。  
履修学生の楽器編成、ボーカルの有り無しで取り上げる楽曲も変更があります。  
学生からの曲リクエストも隨時受け付けます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

クオーター末のアンサンブル試験に向け、パフォーマンス含めてミニライブステージをやって行きます。見る者を引き付ける演奏技術、テンポ良いステージ MC、精度の高いアンサンブルを目指し、ダイナミクスに富んだ「魅せる」ステージングを全員で目指しましょう！

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① ジャズポピュラーの楽曲の演奏（例：水色の雨）
- ② ジャズポピュラーの楽曲の演奏（例：ロッキーのテーマ）
- ③ ジャズポピュラーの楽曲の演奏（例：マッカーサーパーク）
- ④ ジャズポピュラーの楽曲の演奏（例：Copernicus）
- ⑤ ジャズポピュラーの楽曲の演奏（例：Freedom At Midnight）
- ⑥ 秋学期でやった曲の中から試験発表に向けて本番に向けてステージ練習。
- ⑦ ゲネプロ

#### 中間試験評価方法・評価基準

3Q 末試験ライブに向けて、チーム一丸となって総合的にパフォーマンス力がアップしているかチェックします。全員とのアイコンタクトがしっかりと出来ているかチェックしま

す。（暗譜推奨です！）勢いの有るステージングを目指します。

評価基準：出席 45% 平常点 45% 試験 10%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ ジャズポピュラーの楽曲の演奏（例：I want you back）
- ⑨ ジャズポピュラーの楽曲の演奏（例：5 匹の子ブタとチャールストン）
- ⑩ ジャズポピュラーの楽曲の演奏（例：Antigua Boy）
- ⑪ ジャズポピュラーの楽曲の演奏（例：Sined sealed）
- ⑫ ジャズポピュラーの楽曲の演奏（例：You are everything）
- ⑬ ジャズポピュラーの楽曲の演奏（例：Brazil）
- ⑭ 秋学期でやった曲の中から試験発表に向けて本番に向けてステージ練習
- ⑮ ゲネプロ

#### 期末試験評価方法・評価基準

4Q 末試験ライブに向けて、チーム一丸となって総合的にパフォーマンス力がアップしているかチェックします。全員とのアイコンタクトがしっかりと出来ているかチェックします。（暗譜推奨です！）勢いの有るステージングを目指します。

評価基準：出席 45% 平常点 45% 試験 10%

#### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	スタイルアンサンブルIV
担当講師名	菅原潤子
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はライブツアーサポート等の実績を積んでいます。

#### 授業内容

様々な楽曲に取り組む中で、アンサンブル力を養っていきます。  
1年間を通して、バンドとしても切磋琢磨し成長していきましょう。  
※楽器の編成によって、楽曲は都度変更の可能性あり。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

アンサンブル試験において、ライブステージを意識したステージング、MC 等が出来るようになります。

#### 授業計画（1回目から 7回目）

- ① 自己紹介。授業内容の説明。
- ② Them Change
- ③ Get Up (I Feel Like Being A) Sex Machine
- ④ Pick Up The Pieces
- ⑤ MC 等も含めて試験に向けて流れを作って行きます。
- ⑥ 通しリハーサル
- ⑦ アンサンブル試験（ライブ形式）

#### 中間試験評価方法・評価基準

授業の出席率、自主性、協調性。試験では、ライブステージを意識したステージング、MC 等。

出席：50% 平常点：25% 試験：25%

#### 授業計画（8回目から 15回目）

- ⑧ 1 クオーター試験の反省会。授業内容の説明。
- ⑨ Starting Too Slow
- ⑩ September
- ⑪ Thank You (Falettinme Be Mice Elf Agin)
- ⑫ MC 等も含めて試験に向けて流れを作って行きます。
- ⑬ 通シリハーサル
- ⑭ 通シリハーサル
- ⑮ アンサンブル試験（ライブ形式）

#### 期末試験評価方法・評価基準

授業の出席率、自主性、協調性。試験では、ライブステージを意識したステージング、MC 等。

出席：50% 平常点：25% 試験：25%

#### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	スタイルアンサンブルIV
担当講師名	笠原 康弘
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

バークリー音楽院パフォーマンス科卒業後、歌手、シンガーのバックバンド、自己のバンド等において長い演奏経験を持っています。

#### 授業内容

学生の希望する楽曲を編成に合わせてアレンジし、アンサンブルを完成させていく授業です。以下の授業計画は過去の授業の例です。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

簡単そうな曲でも突き詰めると奥深いものがあります。完全コピーして間違えないというのは最初の段階。チームプレイ、インタープレイ、アドリブの持って行き方、エンターテイメント性、オリジナリティー、バンド内の頼れる人物になれるかなど、色々な要素を知ってもらえば、と思います。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① (以下過去の講義内容)つつみこむように ヴォーカルとのアンサンブルに慣れる。
- ② Keyshia Cole – Love バラードのバックング
- ③ オリジナル楽曲 複雑なリズムに対応する
- ④ Tamashii グループを付ける。
- ⑤ スケール・理論・アレンジ・サイズ調整・イントロ・アウトロなど
- ⑥ 全曲の合わせと調整
- ⑦ 授業内ライブ

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席率を重視します。その他授業への取り組み方などが評価対象です。

出席：50% 平常点：30% 試験：20%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ 灯台 他のプレイヤーを良く聞いてインタープレイする
- ⑨ スケール・理論・アレンジ・サイズ調整・イントロ・アウトロなど。
- ⑩ 君じゃなきゃダメみたい コーラスもとってみよう。
- ⑪ Ain't No Other Man
- ⑫ スケール・理論・アレンジ・サイズ調整・イントロ・アウトロなど
- ⑬ 1年間の総まとめ
- ⑭ 全曲の合わせと調整
- ⑮ 全曲の合わせと調整

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席率を重視します。その他授業への取り組み方などが評価対象です。  
出席：50% 平常点：30% 試験：20%

#### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	スタイルアンサンブルIV
担当講師名	須田晶子
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経験

講師は様々な場所でのライブコンサート、アルバム制作、ジャズスクールでの講師指導経験を持ちます

#### 授業内容

秋期では少し難易度を上げた曲に挑戦します。アンサンブルの技術、ステージングを意識した内容、セットリストを効果的に演奏する方法にも取り組んで行きます。それぞれがアイディアを出して想像力を高めチャレンジします。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

色々な曲を経験することで瞬時に対応できるようにし、完成度のより高い演奏ができるようになります。そしてあらゆるバランスを学びながらも自分のキャラクターや嗜好は何かを見つけ出せるようにします。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①Blues feel の曲を用いてメロディをとる楽器のリズム、リズム隊が出すグループを研究します。
- ②その場でアイディアを出し合いラフアレンジをしていく練習です。
- ③皆さんがあれぞれ好きなジャズナンバー、もしくはジャズに関係しているサウンドの曲を選んで演奏してみます。
- ④皆さんがあれぞれ好きなジャズナンバー、もしくはジャズに関係しているサウンドの曲を選んで演奏してみます。
- ⑤Ballad の3拍子の曲を練習します。
- ⑥曲を決めステージングも含め完成度の高い内容に向けて研究します。
- ⑦実際のライブという意識をもって、3~4曲ステージで演奏します。

#### 中間試験評価方法・評価基準

積極的に授業へ取り組んでいるか、どんな状況でも一緒に演奏する人との音のバランスや意思疎通ができているか、ライブとして意識したステージができているかを見ます。

### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧メロディに沿って決められたトリッキーなリフやキメに対しての対応力を身につけます。
- ⑨Contemporary Jazz を研究。同じフィールでもサウンドは何が違うのか、色々な方向から研究します。
- ⑩Vocalese/VoiceなどのJazz Vocalの特殊なジャンルに挑戦します。
- ⑪今までの曲の内容をより深く自分のものにして行きます。
- ⑫変拍子に挑戦です。
- ⑬変拍子に挑戦です。
- ⑭曲を決めステージングも含め完成度の高い内容に向けて研究します。
- ⑮一年を締めくくる最後のライブです。一味違う自分を発揮できるように頑張りましょう！

### 期末試験評価方法・評価基準

積極的に授業へ取り組んでいるか、どんな状況でも一緒に演奏しする人との音のバランスや意思疎通ができているか、ライブとして意識したステージができているかを見ます。

### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ジャズセッションIII
担当講師名	宮本裕史
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

この科目では講師の実務経験(ジャズオーケストラのソリスト、セクションプレイヤー、コンボ編成での奏者経験や作・編曲家としての活動)に基づき、ジャズ&ポピュラーにおけるアンサンブル技術を向上することを目的とします。

#### 授業内容

ジャムセッションに必要な知識と技術を短期間で吸収し、並行して即興主体のジャズアンサンブルに於いて必要とされる様々な技法や常識を学んでいきます。また、専攻実技や各授業で得た知識や技術を試す一番身近な実験の場としての役割も大切にしながら進行していきます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

春学期はクラス内での音楽的基礎知識を共有することに重点を置きます。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①ジャズアンサンブルの基礎知識 1／各楽器の役割や一般的なジャズアンサンブルでの曲の構成について解説。共通の認識を増やします。
- ②鑑賞と模倣 1／前回の解説と照らし合わせながら過去の名演などを鑑賞・分析。参考に出来そうな部分を抽出し再現実験します。
- ③アドリブ中の各楽器の練習 1／簡単な和音進行の曲でソロ、ベースのウォーキング、ピアノのコンピング、ドラムのレガートなどを反復練習をします。
- ④定番曲テーマアンサンブル練習 1／全員で対応可能な範囲内のジャズスタンダード曲テーマ部分の練習をします。
- ⑤アドリブ中の各楽器の練習 2／第3回の延長。また、第7回の日に行う試験曲を決め、その際の方針を相談し合います。
- ⑥試験曲準備／試験で行う曲の反復練習。各レベル、各楽器に合わせた難易度設定を設けその攻略ポイントを解説します。
- ⑦試験・ジャズ合奏。／今までの学習を生かしつつ自由な発想を試すこと目標に講師陣の前で演奏発表します。

### 中間試験評価方法・評価基準

下級生は基礎理解度合、上級生は上達度合を重視します。出席：40%、平常点20%、試験40%

### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧試験反省会／試験の際の演奏を聞き返し、各自反省点を述べ、改善の実験をします。
- ⑨鑑賞と模倣2／過去の名演などを鑑賞・分析。参考に出来そうな部分を抽出し再現実験します。
- ⑩アドリブ中の各楽器の練習3／各楽器の役割、ソロ、ベースのウォーキング、ピアノのコンピング、ドラムのレガートなどを反復練習をします。
- ⑪定番曲テーマアンサンブル練習2／全員で対応可能な範囲内のジャズスタンダード曲テーマ部分の練習を中心に授業します。
- ⑫様々なテンポの練習／バラード以外の全テンポを経験。また夏休み前に各生徒の課題（宿題ではない）を告げそれぞれの攻略方法を考えます。
- ⑬夏休み明けの進歩確認／長期休暇中にどれだけ復習できたかを確認します。
- ⑭試験曲準備／試験で行う曲の反復練習。各レベル、各楽器に合わせた難易度設定を設けその攻略ポイントを解説します。
- ⑮試験・ジャズ合奏／今までの学習を生かしつつ自由な発想を試すことを目標に講師陣の前で演奏発表します。

### 期末試験評価方法・評価基準

下級生は基礎理解度合、上級生は上達度合を重視します。出席：40%、平常点20%、試験40%

### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ジャズセッションIII
担当講師名	寺屋ナオ
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

講師はギター奏者としての演奏活動、作編曲家としての作編曲提供の実務経験を持ちます。

#### 授業内容

この科目では、小編成でのジャズのアンサンブルにおける演奏の仕方を学びます。事前に細かなアレンジを用意することなく、その場で曲を決めて演奏し、音楽の「即興力」や「会話力」を磨きます。授業計画の曲目は例です。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

シンプルな楽曲を使って、セッションに慣れるのが1Qの目標です。2Qは様々なリズムスタイルの要素を取り入れるようになるのが目標です。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①Bluesを題材に、セッションの基本的な演奏法を学びます。
- ②Watermelon manなどを題材に、ブルース楽曲のセッションを練習します。
- ③Chitlins con Carneなどを題材に、ブルース楽曲のセッションを練習します。
- ④The sidewinderなどを題材に、変則的なサイズのブルース楽曲を練習します。
- ⑤The chickenなどを題材に、変則的なサイズのブルース楽曲を練習します。
- ⑥実技試験に向けての楽曲を決め、リハーサルを行います。
- ⑦ライブ形式の実技試験を行います。

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席を重視し、60%は出席点で採点します。

リハーサルでの立ち振る舞いや、実技試験での演奏内容で残り 40%の評価をします。

出席:60% 筆記試験:40%

#### 授業計画（8回目から15回目）

⑧様々なリズムスタイルの楽曲を練習します。

⑨Back at the chicken shackなどを題材に、シャッフルの楽曲を練習します。

⑩Isn't she lovelyなどを題材に、シャッフルの楽曲を練習します。

⑪Sugarなどの楽曲を題材に、Swingのリズムの楽曲を練習します。

⑫Blue bossaなどを題材に、ボサノバのリズムの楽曲を練習します。

⑬オルフェのサンバなどを題材に、サンバのリズムの楽曲を練習します。

⑭実技試験に向けての楽曲を決め、リハーサルを行います。

⑮ライブ形式の実技試験を行います。

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席を重視し、60%は出席点で採点します。

リハーサルでの立ち振る舞いや、実技試験での演奏内容で残り 40%の評価をします。

出席:60% 筆記試験:40%

#### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ジャズセッションIII
担当講師名	藤本暁子
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師は、ジャズピアニストとして演奏活動を行なっております。

#### 授業内容

ジャズのセッションには、色々な決まりが実在します。リズム、テンポの提示、ソロの回し方、取り方、イントロ&エンディングの設定など、まず、基本的なことを実践し、身につけていき、それから応用してたくさんの曲にチャレンジしていきたいと思います。その場でどんどんアンサンブルを創り上げていく上で、どういう言葉や作法や技術が必要なのかを、実践しながら学んでいきます

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

一人一人が自分の楽器に向かい、責任を持ち、全員で一つの音楽を創ることができているかどうか。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①Swing のリズムにチャレンジ：クラス全員でセッションする。
- ②Swing のリズムにチャレンジ：クラス全員でセッションする。
- ③Swing のリズムにチャレンジ：クラス全員でセッションする。
- ④Swing のリズムにチャレンジ：クラス全員でセッションする。
- ⑤Swing のリズムにチャレンジ：クラス全員でセッションする。
- ⑥Swing のリズムにチャレンジ：クラス全員でセッションする。
- ⑦試験：クラス全員で発表する。

出席：40% 平常点：40% 試験：20%

#### 中間試験評価方法・評価基準

「アンサンブル」という団体競技と「ソロ」という個人競技、両方共がバランスよく發揮できているかどうか。加えて、毎回の授業への取り組み方でも評価します。出席・遅刻もおおいに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧Swing & Bossa Nova のリズムにチャレンジ：クラス全員でセッションする。

- ⑨Swing & Bossa Nova のリズムにチャレンジ：クラス全員でセッションする。
- ⑩Swing & Bossa Nova のリズムにチャレンジ：クラス全員でセッションする。
- ⑪Swing & Bossa Nova のリズムにチャレンジ：クラス全員でセッションする。
- ⑫Swing & Bossa Nova のリズムにチャレンジ：クラス全員でセッションする。
- ⑬Swing & Bossa Nova のリズムにチャレンジ：クラス全員でセッションする。
- ⑭Swing & Bossa Nova のリズムにチャレンジ：クラス全員でセッションする。
- ⑮試験：クラス全員で発表する。

#### 期末試験評価方法・評価基準

「アンサンブル」という団体競技と「ソロ」という個人競技、両方共がバランスよく發揮できているかどうか。加えて、毎回の授業への取り組み方でも評価します。出席・遅刻もおおいに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

出席：40% 平常点：40% 試験：20%

#### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ジャズセッションⅢ
担当講師名	松永加津子
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はビッグバンドやジャズコンボでピアノ演奏、ライブハウスで活躍中。アレンジや作曲も。また、スチューデントジャズ、セイコーサマージャズキャンプなど、子供達へのジャズ教育にも関わっています。

#### 授業内容

3～4リズムと管楽器で、いつでもどこに行っても、すぐに誰とでもジャムセッションができるように、いろいろなスタンダードナンバーを知り、テーマをしっかり演奏出来て、アドリブも取れるようになるための授業です。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

はじめに、Tone をしっかりさせる練習をします。管楽器はロングトーン、リズムは一つ一つの音をしっかり出す練習を繰り返し行います。曲はまずブルース。いろいろなキーで、いろいろなビートで、ブルース形式の曲を覚えましょう。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①授業の最初に、必ずブルースでロングトーンとリズム練習をします。ブルースに慣れていきます。
- ②ブルースのコード進行を覚えてしまいましょう。ほとんどのブルースはコード進行は同じです。
- ③C、F、B♭キーのブルースのコード進行は暗譜しましょう。8分音符の練習もします。
- ④スウィングの他に、シャッフルやスロービートのノリのブルースにもチャレンジ。
- ⑤同じキーでも、たくさんのスタンダードナンバーとしてのブルースがあります。いろいろなキーのブルースを練習します。

- ⑥試験に向けて、練習してきたブルースやスタンダードナンバーを仕上げていきます。  
⑦課題曲のテーマとアドリブ、のびのびとしっかり演奏しましょう。

#### 中間試験評価方法・評価基準

テーマがちゃんと演奏出来ているか、アドリブにチャレンジ出来たか、そして、今クオーターで練習してきた、いい Tone で、いいノリのビートで、のびのびと演奏しているかを評価します。出席：30%、平常点：30%、試験 40%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧のクラスは徹底的にブルースを演奏して、基礎力をつけていきます。繰り返し、8分のノリを練習。  
⑨様々なスタンダードナンバーを演奏していきます。演奏する前に、まず、名曲を聴きます。  
⑩ブルースでロングトーン、8分ノリの練習をした後は、スタンダードナンバーをどんどん演奏していきます。  
⑪8分ノリは、曲のテンポによって変わってきます。速い曲、ミディアム、スローと、いろいろなテンポでチャレンジです。  
⑫同じ曲でも、ビートビよって演奏の仕方が変わります。4ビートスウィングだけでなく、ボサノバやサンバでも演奏してみます。  
⑬試験で演奏する曲を、みんなで決めます。どんな曲を演奏したいか、どのように演奏したいか、考えましょう。  
⑭みんなで決めた曲のテーマとアドリブ、繰り返し、しっかり練習しましょう。  
⑮テーマをしっかり演奏し、アドリブにもチャレンジ！元気にのびのび演奏してください。

#### 期末試験評価方法・評価基準

スタンダードナンバーを演奏する時は、とにかくテーマをきっちり演奏することが大切です。テーマがちゃんと演奏出来ているか、そして、アドリブをのびのび楽しく演奏しているかを採点します。

出席：30%、平常点：30%、試験 40%

#### 特記事項

いろいろなスタンダードナンバーを知ることが大切です。演奏だけでなく、出来るだけたくさんの方の名演奏を聴きましょう。

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ジャズセッションⅢ
担当講師名	石田衛
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経験

講師は国内外の様々なジャズミュージシャンとのライブ、ツアーや、レコーディングの経験を持ちます。

#### 授業内容

この科目では小編成でブルースやジャズスタンダードを演奏しながら、バンド内での自己の役割や、共演者とのコミュニケーションの取り方を学んでいきます。またスイングのリズムを中心に様々なリズムを体感しながら学びます

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

まずはジャムセッションに慣れる事が目標です。そして共演者の音をよく聴きながら演奏する事を目指します。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①ブルース（ミディアム）
- ②ブルース（スロー）
- ③ブルース（ミディアムアップ）
- ④リズムチェンジ（ミディアムアップ）
- ⑤リズムチェンジ（アップ）
- ⑥課題曲の決定とリハーサル
- ⑦実技試験（課題曲の合奏）

#### 中間試験評価方法・評価基準

授業内容の理解、取り組み方で評価します。また、連続性のある内容なので出席も重視します。

授業計画（8回目から15回目）

- ⑧イントロとエンディング 1
- ⑨イントロとエンディング 2
- ⑩ジャズスタンダード
- ⑪ジャズスタンダード
- ⑫ジャズスタンダード
- ⑬ジャズスタンダード
- ⑭課題曲の決定とリハーサル
- ⑮実技試験（課題曲の合奏）

期末試験評価方法・評価基準

授業内容の理解、取り組み方で評価します。また、連続性のある内容なので出席も重視します。

特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ジャズセッション III
担当講師名	山本裕之
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

ジャズピアニスト 山中千尋の Trio ベーシストとして NHK 総合「あさイチ」、テレビ朝日『題名のない音楽会』、BS ジャパン「おんがく交差点」等に出演。多くのジャズライブ、レコーディングに参加している

#### 授業内容

ジャズ・スタンダードを題材にジャムセッションを行い即興的な演奏を学びます。スタンダードが持つ伝統的なイントロやエンディング、リズム等を学びます。また、それらを敢えて取り入れないセッションも行い即興性、自発性、協調性を磨きます。曲は変更する可能性があります。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

題材に取り上げたスタンダード曲は、メロディ、コード進行をなるべく暗譜します。それぞれのスタンダード曲が持つ、伝統的なイントロやエンディング、リズム等を覚え、且つイレギュラーな場合でも即興性、自発性、音での会話ができる事を目標とします。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①Watermelon man 等
- ②Work song, Summertime 等
- ③Days of wine&roses 等
- ④Autumn Leaves 等
- ⑤Bye bye blackbird 等
- ⑥試験で演奏する曲 2曲ほど
- ⑦試験

## 中間試験評価方法・評価基準

演奏内容（スムーズにメロディ、良いソロが取れていること。安定していて、且つ刺激的な伴奏ができていること。音での会話が成り立っていること等）及び授業での取り組みで評価します。出席も重視します。

## 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧On green dolphin street 等
- ⑨You'd be so nice to come home to 等
- ⑩There will never be another you 等
- ⑪Yardbird suite 等
- ⑫So what 等
- ⑬Joy spring 等
- ⑭試験で演奏する曲 2曲ほど
- ⑮試験

## 期末試験評価方法・評価基準

演奏内容（スムーズにメロディ、良いソロが取れていること。安定していて、且つ刺激的な伴奏ができていること。音での会話が成り立っていること等）及び授業での取り組みで評価します。出席も重視します。

## 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ジャズセッションⅢ
担当講師名	関谷友貴
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

自己のジャズバンド TRI4TH や黒船の活動や、ジャズ系アーティストのライブサポートなど

#### 授業内容

この科目では、ジャズスタンダードナンバーを中心にレパートリーを増やし、アイコンタクトなどセッションで必要な会話力を磨きます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

アイコンタクト

定番のジャズスタンダードを 10 曲暗譜で演奏出来る

#### 授業計画（1回目から 7回目）

- ①オリエンテーション&セッションマナー
- ②ジャズブルース (Straight No Chaser)
- ③リズムチェンジ (OLEO)
- ④8 ビート (Watermelon Man)
- ⑤16 ビート (The Chicken)
- ⑥ボサノヴァ (Blue Bossa)
- ⑦テスト

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席率を重視します。コードに対して正しい音が使っているか、アイコンタクトなどセッションで必要なジャズマナーに則った演奏がされているかを評価します。評価項目（試験

40%、出席 60%)

授業計画（8回目から15回目）

- ⑧シャッフル (Isn't She Lovely)
- ⑨モーダル① (Cantalope Island)
- ⑩マイナーブルース (Mr.P.C)
- ⑪3拍子 (Someday Prince Will Come)
- ⑫モーダル② (So What)
- ⑬バラード (Misty)
- ⑭テスト対策
- ⑮テスト

期末試験評価方法・評価基準

出席率を重視します。モードに対して正しい音が使っているか、暗譜でテーマやインプロができるかを評価します。評価項目（試験 40%、出席 60%）

特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ジャズセッションIV
担当講師名	宮本裕史
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

この科目では講師の実務経験(ジャズオーケストラのソリスト、セクションプレイヤー、コンボ編成での奏者経験や作・編曲家としての活動)に基づき、ジャズ&ポピュラーにおけるアンサンブル技術を向上することを目的とします。

#### 授業内容

ジャムセッションに必要な知識と技術を短期間で吸収し、並行して即興主体のジャズアンサンブルに於いて必要とされる様々な技法や常識を学んでいきます。また、専攻実技や各授業で得た知識や技術を試す一番身近な実験の場としての役割も大切にしながら進行していきます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

秋学期はジャズ&ポピュラーにおける総合的なアンサンブル技術を向上することを目的とします。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①試験反省会／試験の際の演奏を聞き返し、各自反省点を述べ、改善の実験をします。
- ②鑑賞と模倣3／過去の名演などを鑑賞・分析。参考に出来そうな部分を抽出し再現実験します。
- ③アドリブ中の各楽器の練習4／各楽器個別の課題を決めアンサンブルを通してそれを解決する反復練習をします。
- ④定番曲テーマアンサンブル練習3／全員で対応可能な範囲内のジャズスタンダード曲テーマ部分の練習を中心に進行します。
- ⑤ダイナミクス／抑制が利き、十分に間(ま)を取った静かな演奏と、爆発的な激しい演奏の双方の研究をします。
- ⑥試験曲準備／試験で行う曲の反復練習。各レベル、各楽器に合わせた難易度設定を設けその攻略ポイントを解説します。
- ⑦試験・ジャズ合奏。／今までの学習を生かしつつ自由な発想を試すこと目標に講師陣の前で演奏発表します。

### 中間試験評価方法・評価基準

下級生・上級生ともに上達度合を重視します。出席40%、平常点20%、試験40%

### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧試験反省会／試験の際の演奏を聞き返し、各自反省点を述べ、改善の実験をします。
- ⑨鑑賞と模倣 4／過去の名演などを鑑賞・分析。参考に出来そうな部分を抽出し再現実験します。
- ⑩違うリズム／ラテンやブラジル音楽、ファンクなどのリズム、または3拍子などを演奏し、今までの学習からの応用を試します。
- ⑪冬休み明けの進歩確認／アンサンブルにおける情報処理速度を長期休暇中にどれだけアップできたかを確認します。
- ⑫情報交換会／学外のジャムセッションや音楽活動経験など、各生徒が体験した情報を共有。講師が経験したエピソードも披露します。
- ⑬アドリブ中の各楽器の練習 5／各楽器個別の課題を決め、様々な曲の合奏を通してそれを解決する反復練習をします。
- ⑭試験曲準備／試験で行う曲の反復練習。各レベル、各楽器に合わせた難易度設定を設けその攻略ポイントを解説します。
- ⑮試験・ジャズ合奏。／今までの学習を生かしつつ自由な発想を試すことを目標に講師陣の前で演奏発表します。

### 期末試験評価方法・評価基準

下級生・上級生ともにアンサンブルに対する意識の深さ、そして以前からの上達度合を重視します。出席40%、平常点20%、試験40%

### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ジャズセッションIV
担当講師名	寺屋ナオ
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

講師はギター奏者としての演奏活動、作編曲家としての作編曲提供の実務経験を持ちます。

#### 授業内容

この科目では、小編成でのジャズのアンサンブルにおける演奏の仕方を学びます。事前に細かなアレンジを用意することなく、その場で曲を決めて演奏し、音楽の「即興力」や「会話力」を磨きます。授業計画の曲目は例です。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

3Q はスタンダードソングで、イントロやエンディングなどを含めてスムーズにセッションできるようになる事が目標です。4Q は、より難易度の高い曲をセッションできるようになる事が目標です。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①I'll close my eyesなどの楽曲を題材に、スタンダード曲のセッションを練習します。
- ②It could happen to youなどの楽曲を題材に、スタンダード曲のセッションを練習します。
- ③Alone togetherなどの楽曲を題材に、スタンダード曲のセッションを練習します。
- ④スタンダード曲のイントロやエンディングなどの技法を練習します。
- ⑤スタンダード曲のイントロやエンディングなどの技法を練習します。
- ⑥実技試験に向けての楽曲を決め、リハーサルを行います。
- ⑦ライブ形式での実技試験を実施します。

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席を重視し、60%は出席点で採点します。

リハーサルでの立ち振る舞いや、実技試験での演奏内容で残り 40%の評価をします。

出席:60% 筆記試験:40%

#### 授業計画（8回目から15回目）

⑧Confirmationなどの楽曲を題材に、Bebop 楽曲のセッションを練習します。

⑨Donna leeなどの楽曲を題材に、Bebop 楽曲のセッションを練習します。

⑩Israelなどの楽曲を題材に、Modan Jazz 楽曲のセッションを練習します。

⑪So whatなどの楽曲を題材に、Mode Jazz 楽曲のセッションを練習します。

⑫Strasbourg saint denisなどの楽曲を題材に、Jazz funk 楽曲のセッションを練習します。

⑬Nica's dreamなどの楽曲を題材に、Hard bop 楽曲のセッションを練習します。

⑭実技試験に向けての楽曲を決め、リハーサルを行います。

⑮ライブ形式での実技試験を実施します。

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席を重視し、60%は出席点で採点します。

リハーサルでの立ち振る舞いや、実技試験での演奏内容で残り 40%の評価をします。

出席:60% 筆記試験:40%

#### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ジャズセッションIV
担当講師名	藤本暁子
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師は、ジャズピアニストとして演奏活動を行なっております。

#### 授業内容

ジャズのセッションには、色々な決まりが実在します。リズム、テンポの提示、ソロの回し方、取り方、イントロ&エンディングの設定など、まず、基本的なことを実践し、身につけていき、それから応用してたくさんの曲にチャレンジしていきたいと思います。その場でどんどんアンサンブルを創り上げていく上で、どういう言葉や作法や技術が必要なのかを、実践しながら学んでいきます

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

一人一人が自分の楽器に向かい、責任を持ち、全員で一つの音楽を創ることができているかどうか。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①自主的に曲を出し合う：クラス全員でセッションする。
- ②自主的に曲を出し合う：クラス全員でセッションする。
- ③自主的に曲を出し合う：クラス全員でセッションする。
- ④自主的に曲を出し合う：クラス全員でセッションする。
- ⑤自主的に曲を出し合う：クラス全員でセッションする。
- ⑥自主的に曲を出し合う：クラス全員でセッションする。
- ⑦試験：クラス全員で発表する。

#### 中間試験評価方法・評価基準

「アンサンブル」という団体競技と「ソロ」という個人競技、両方共がバランスよく発揮できているかどうか。加えて、毎回の授業への取り組み方でも評価します。出席・遅刻もおおいに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

出席：40% 平常点：40% 試験：20%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧自主的に曲を出し合う：クラス全員でセッションする。

- ⑨自主的に曲を出し合う：クラス全員でセッションする。
- ⑩自主的に曲を出し合う：クラス全員でセッションする。
- ⑪自主的に曲を出し合う：クラス全員でセッションする。
- ⑫自主的に曲を出し合う：クラス全員でセッションする。
- ⑬自主的に曲を出し合う：クラス全員でセッションする。
- ⑭自主的に曲を出し合う：クラス全員でセッションする。
- ⑮試験：クラス全員で発表する。

#### 期末試験評価方法・評価基準

「アンサンブル」という団体競技と「ソロ」という個人競技、両方共がバランスよく發揮できているかどうか。加えて、毎回の授業への取り組み方でも評価します。出席・遅刻もおおいに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

出席：40% 平常点：40% 試験：20%

#### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ジャズセッションIV
担当講師名	松永加津子
学期	秋
授業の形態	講義
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はビッグバンドやジャズコンボでピアノ演奏、ライブハウスで活躍中。アレンジや作曲も。また、スチューデントジャズ、セイコーサマージャズキャンプなど、子供達へのジャズ教育にも関わっています。

#### 授業内容

テーマをしっかり演奏することにかなり慣れてきたことだと思います。今度はどうやってもっとかっこ良くアドリブ演奏できるか考えていきます。イントロ、エンディングの持つべき方も勉強していき、セッションで楽しく演奏する力をつけていきます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

かっこいいアドリブ演奏するための近道はありません。が、世の中にはたくさんの名演奏が残されています。あなたのジャズのアイドルは誰ですか？是非コピーしてください。この授業では、コピーのやり方を学び、そして演奏への反映の仕方にチャレンジします。

出席：30%、平常点：30%、試験 40%

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①ジャズの基本曲、ブルースの他にリズムチェンジの基本を知りましょう。
- ②リズムチェンジの曲も、ほぼコード進行は同じです。コードは暗記してしまいましょう。
- ③リズムチェンジの名曲も、知っておいたほうがいい曲がたくさんあります。サビ部分の違いを知りましょう。
- ④ブルースには、メジャーとマイナーの曲があります。今回はマイナーブルースのコード進行を覚えましょう。
- ⑤名曲を知ることはとても大切です。マイナーの曲はけっこう取り組みやすいかも。たく

さん演奏しましょう。

⑥試験曲の練習を何度も繰り返して暗記します。アドリブもしっかりやりましょうね。

⑦選んだ曲をしっかり演奏しましょう。

#### 中間試験評価方法・評価基準

カウント、イントロ、テーマ、アドリブ、4～8バース、テーマ、エンディングと、一曲をしっかり演奏できているかをチェックします。

出席：30%、平常点：30%、試験 40%

#### 授業計画（8回目から15回目）

⑧スタンダードナンバーを、作曲家別に研究してみましょう。かっこいい箇所をフレーズコピーしてみましょう。

⑨フレーズのコピーをどんどんていきましょう。たくさんコピーして、アドリブでここでというときに使ってみましょう。

⑩コールポーターやガーシュインやエリントンやなどなど、スタンダードナンバーを知り、フレーズコピーもしましょう。

⑪少し難しい曲にもチャレンジ！テーマを覚えて演奏すること自体が、フレーズとして使えることを知りましょう。

⑫様々なスタンダードナンバーの中から、演奏したい曲を決め、みんなでどう演奏するか相談して決めます。

⑬まず、テーマを暗記すること。ソロはできれば自由に演奏したいところですが、考えて決めてもいいです。

⑭繰り返し練習。練習中に、いろんなフレーズやビートを思考錯誤してチャレンジしてください。

⑮選んだ曲をしっかり演奏しましょう。

#### 期末試験評価方法・評価基準

セッションとして成り立つ演奏ができたか、テーマ、アドリブ、イントロ、エンディング、そして何より、仲間と一緒に、楽しんで演奏できたかどうかをチェックします。

出席：30%、平常点：30%、試験 40%

#### 特記事項

どんな時でも誰とでも楽しく演奏出来るのがジャズの魅力です。いろいろな曲にチャレンジしていってください。そのためにも、毎日の練習が大切になりますね。

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ジャズセッションIV
担当講師名	石田衛
学期	秋
授業の形態	講義
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

講師は国内外の様々なジャズミュージシャンとのライブ、ツアーや、レコーディングの経験を持ちます。

#### 授業内容

この科目ではジャズセッション I で学んだ事を生かし、複雑なコード進行や変則的な小節数を持つ、やや難易度の高い楽曲に挑みます。また様々な

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

共演者の音を良く聴きながらも依存しないで演奏する事を目指します。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① Ballad (My One And Only Love 等)
- ②Fast Swing(Cherokee 等)
- ③Waltz (Up Jumped Spring 等)
- ④Bossa Nova (Wave 等)
- ⑤Shuffle (Isn't She Lovely 等)
- ⑥課題曲の決定とリハーサル
- ⑦実技試験（課題曲の合奏）

#### 中間試験評価方法・評価基準

授業内容の理解、取り組み方で評価します。また、連続性のある内容なので出席も重視し

ます。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧Straight 8th(Falling Grace 等)
- ⑨Funk(Cissy Strut 等)
- ⑩コード進行の複雑な曲(Upper Manhattan Medical Group 等)
- ⑪フォームが変則的な曲(Stablemates 等)
- ⑫分数コードを用いる曲(Dolphin Dance)
- ⑬モード(So What 等)
- ⑭課題曲の決定とリハーサル
- ⑮実技試験（課題曲の合奏）

#### 期末試験評価方法・評価基準

授業内容の理解、取り組み方で評価します。また、連続性のある内容なので出席も重視します。

#### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ジャズセッションIV
担当講師名	山本裕之
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

ジャズピアニスト 山中千尋の Trio ベーシストとして NHK 総合「あさイチ」、テレビ朝日『題名のない音楽会』、BS ジャパン「おんがく交差点」等に出演。多くのジャズライブ、レコーディングに参加している

#### 授業内容

ジャズ・スタンダードを題材にジャムセッションを行い即興的な演奏を学びます。スタンダードが持つ伝統的なイントロやエンディング、リズム等を学びます。また、それらを敢えて取り入れないセッションも行い即興性、自発性、協調性を磨きます。曲は変更する可能性があります。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

題材に取り上げたスタンダード曲は、メロディ、コード進行をなるべく暗譜します。それぞれのスタンダード曲が持つ、伝統的なイントロやエンディング、リズム等を覚え、且つイレギュラーな場合でも即興性、自発性、音での会話ができる事を目標とします。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①Ol'leo, Good bait 等
- ②But not for me 等
- ③Star eyes 等
- ④Seven steps to heaven 等
- ⑤I'll close my eyes 等
- ⑥試験で演奏する曲 2曲ほど
- ⑦試験

### 中間試験評価方法・評価基準

演奏内容（スムーズにメロディ、良いソロが取れていますこと。安定していて、且つ刺激的な伴奏ができていること。音での会話が成り立っていること等）及び授業での取り組みで評価します。出席も重視します。

### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧Blue monk 等
- ⑨Speak low I remember you 等
- ⑩Candy, Caravan 等
- ⑪Ornithology 等
- ⑫Stable mates 等
- ⑬Moment's notice 等
- ⑭試験で演奏する曲 2曲ほど
- ⑮試験

### 期末試験評価方法・評価基準

演奏内容（スムーズにメロディ、良いソロが取れていますこと。安定していて、且つ刺激的な伴奏ができていること。音での会話が成り立っていること等）及び授業での取り組みで評価します。出席も重視します。

### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ジャズセッションIV
担当講師名	関谷友貴
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経験

自己のジャズバンド TRI4TH や黒船の活動や、ジャズ系アーティストのライブサポートなど

#### 授業内容

この科目では、ジャズスタンダードナンバーを中心にレパートリーを増やし、アイコンタクトなどセッションで必要な会話力を磨きます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

アイコンタクト

定番のジャズスタンダードを 10 曲暗譜で演奏出来る

#### 授業計画（1回目から 7回目）

- ①グルーヴチェンジ
- ②ファンク (Pick Up The Pieces)
- ③ラテンフュージョン (Spain)
- ④ストレート 8th (Maiden Voyage)
- ⑤ヘッドアレンジ
- ⑥テスト対策
- ⑦テスト

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席率を重視します。グルーヴに対して正しく演奏出来ているか、イントロやエンディングなどジャズマナーに則った演奏がされているかを評価します。評価項目（試験 40%、出

出席 60%)

授業計画（8回目から15回目）

- ⑧転調 (All The Things You Are)
- ⑨ビバップ (Donna Lee)
- ⑩変拍子 (Take Five)
- ⑪フィールチェンジ (On Green Dolphin St.)
- ⑫ユニゾン (Red Baron)
- ⑬マルチトニック (Giant Steps)
- ⑭テスト対策 3
- ⑮テスト

期末試験評価方法・評価基準

出席率を重視します。スタイルに対して正しい演奏であるか、暗譜でテーマやインプロができるかを評価します。評価項目（試験 40%、出席 60%）

特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	プレゼンテーションⅡ
担当講師名	大井澄東
学期	通年
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

講師はジャズ・ポピュラージャンルにおける、演奏家としての活動、音楽教室講師などの実務経験を持ちます。

#### 授業内容

学校行事や学科主催催事の事前準備や作業、卒業後にミュージシャン、講師などの職に就く際に必要になるプロフィール作成や仕事を受ける際の注意点、実際の仕事の進め方、オーディションなどで自分をプレゼンテーションする際に注意すべき事項などを例を追って指導していきます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

自己の音楽活動、就職活動における適切な資料作成とプレゼンテーションの仕方を知り、身につけます。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① オーディションを受けよう
- ② 夏のイベントについて①
- ③ 夏のイベントについて②
- ④ 夏休みの過ごし方
- ⑤ 授業内試験、専攻実技試験のスケジュール
- ⑥ セッション、アンサンブル試験スケジュール
- ⑦ 試験後のスケジュール確認

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席 70%・平常点・提出物 30%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ① 卒業後の生活

- ② 冬休み前指導
- ③ 出席確認
- ④ 最終試験に向けた準備
- ⑤ プレイヤーズオーディションについて
- ⑥ 卒業制作について
- ⑦ 最後の試験について、
- ⑧ 追試・再試、卒業

期末試験評価方法・評価基準

出席 70%・平常点・提出物 30%

特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	コンポージングⅢ
担当講師名	久保田浩之
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

講師は J-POP アーティストとして長年音楽界のメジャーシーンで創作・制作活動に携わり、作編曲、トラックメイキング、サウンドプロデュースの経験を持ちます。

#### 授業内容

個々のジャンルやスタイル固有のコード進行やグルーヴ、メロディーの構築の仕方を分析・研究しながら自身の作品に反映していく手法を学びます。アレンジに役立つ様々な手法や、現代的かつ感覚的・直感的なトラックメイキングによる作曲法まで幅広く紹介します。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

各テーマに沿った楽曲が創作できるように、各スタイル、ジャンル固有の音楽的特徴や背景への理解を深め自分の作品に反映させていきます。1年次に習得した作曲技法の基礎を応用しより精度の高い洗練された楽曲制作を目指します。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① ガイダンス・SIWING 曲（モーダル）①
- ② SWING 曲（モーダル）②
- ③ SWING 曲（モーダル）③
- ④ オスティナート・ペダルトーン①
- ⑤ オスティナート・ペダルトーン②
- ⑥ これまでの授業を踏まえて楽曲制作
- ⑦ 中間試験：作品提出

#### 中間試験評価方法・評価基準

授業内で作品制作し提出。  
授業で学んだ作曲技法が効果的に使われているか。  
メロディー全体のクオリティーと譜面作成力。

### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ Bossa Nova/Samba 曲①
- ⑨ Bossa Nova/Samba 曲②
- ⑩ Bossa Nova/Samba 曲③
- ⑪ Be-Bop 曲①
- ⑫ Be-Bop 曲②
- ⑬ Be-Bop 曲③
- ⑭ これまでの授業を踏まえて楽曲制作
- ⑮ 期末試験：作品提出

### 期末試験評価方法・評価基準

授業内で作品制作し提出  
授業内で学んだ作曲技法を効果的に使っているか。  
作品全体のクオリティーと譜面作成力  
出席：30% 平常点：30% 試験：40%

### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	コンポージングIV
担当講師名	久保田浩之
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

講師は J-POP アーティストとして長年音楽界のメジャーシーンで創作・制作活動に携わり、作編曲、トラックメイキング、サウンドプロデュースの経験を持ちます。

#### 授業内容

個々のジャンルやスタイル固有のコード進行やグルーヴ、メロディーの構築の仕方を分析・研究しながら自身の作品に反映していく手法を学びます。アレンジに役立つ様々な手法や、現代的かつ感覚的・直感的なトラックメイキングによる作曲法まで幅広く紹介します。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

各テーマに沿った楽曲が創作できるように、各スタイル、ジャンル固有の音楽的特徴や背景への理解を深め自分の作品に反映させていきます。1年次に習得した作曲技法の基礎を応用しより精度の高い洗練された楽曲制作を目指します。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① JAZZ FUNK 曲①
- ② JAZZ FUNK 曲②
- ③ JAZZ WALTZ 曲①
- ④ JAZZ WALTZ 曲②
- ⑤ グルーヴ・ビートもの①
- ⑥ グルーヴ・ビートもの②
- ⑦ 中間試験：作品提出

#### 中間試験評価方法・評価基準

授業内で作品制作し提出。  
授業で学んだ作曲技法が効果的に使われているか。  
メロディー全体のクオリティと譜面作成力。

### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ ホーン・ストリングスアレンジ①
- ⑨ ホーン・ストリングスアレンジ②
- ⑩ リハーモナイズ①
- ⑪ リハーモナイズ②
- ⑫ 現代的なメロディーとハーモニー①
- ⑬ 現代的なメロディーとハーモニー②
- ⑭ 講師作品紹介と解説
- ⑮ 期末試験：作品提出

### 期末試験評価方法・評価基準

授業内で作品制作し提出

授業内で学んだ作曲技法を効果的に使っているか。

作品全体のクオリティーと譜面作成力

出席：30% 平常点：30% 試験：40%

### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	オリジナルアンサンブルⅠ
担当講師名	久保田浩之
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

講師は J-POP アーティストとして長年音楽界のメジャーシーンで創作・制作活動に携わり、作編曲、トラックメイキング、サウンドプロデュースの経験を持ちます。

#### 授業内容

各自のオリジナル楽曲を自分たちで演奏、レコーディングし、作品を制作するために必要な様々なスキルとノウハウを学びます。プリプロダクションを重ねながら楽曲と演奏を磨き上げ、いかに伝わる音源作品にまとめあげるかを研究していきます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

プリプロダクションでオリジナル楽曲を磨きながら同時にデモ音源も制作しそのクオリティーを上げていきます。その楽曲の魅力を最大限に引き出すためのアレンジ・演奏・レコーディングの方向性をチームで見つけ出しながらクリエイターとプレイヤーの両立を目指します。

#### 授業計画（1回目から 7回目）

- ① ガイダンス・デモストレーション①
- ② デモストレーション②
- ③ デモストレーション③
- ④ オリジナル楽曲選定・プリプロ①
- ⑤ プリプロ②・デモ音源制作
- ⑥ プリプロ③・デモ音源制作
- ⑦ 中間試験：デモ音源仕上げ・試聴会

#### 中間試験評価方法・評価基準

(アレンジ、演奏技術、演奏内容を含めた) デモ音源のクオリティー 40%  
 プリプロへの貢献度 30%  
 出席状況 30% で成績評価を算出します。

### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ オリジナル楽曲選定・プリプロ①
- ⑨ プリプロ②・デモ音源制作
- ⑩ プリプロ③・デモ音源制作
- ⑪ デモ音源仕上げ・試聴会
- ⑫ オリジナル楽曲選定・プリプロ①
- ⑬ プリプロ②・デモ音源制作
- ⑭ プリプロ③・デモ音源制作
- ⑮ 期末試験：デモ音源仕上げ・試聴会

### 期末試験評価方法・評価基準

(アレンジ、演奏技術、演奏内容を含めた) デモ音源のクオリティー 40%  
プリプロへの貢献度 30%  
出席状況 30% で成績評価を算出します。

### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	オリジナルアンサンブルⅡ
担当講師名	久保田浩之
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

講師は J-POP アーティストとして長年音楽界のメジャーシーンで創作・制作活動に携わり、作編曲、トラックメイキング、サウンドプロデュースの経験を持ちます。

#### 授業内容

各自のオリジナル楽曲を自分たちで演奏、レコーディングし、作品を制作するために必要な様々なスキルとノウハウを学びます。プリプロダクションを重ねながら楽曲と演奏を磨き上げ、いかに伝わる音源作品にまとめあげるかを研究していきます。秋学期は卒業制作に向け作品を制作していきます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

プリプロダクションでオリジナル楽曲を磨きながら同時にデモ音源も制作しそのクオリティーを上げていきます。その楽曲の魅力を最大限に引き出すためのアレンジ・演奏・レコーディングの方向性をチームで見つけ出しながらクリエイターとプレイヤーの両立を目指します。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① オリジナル楽曲選定・プリプロ①
- ② プリプロ②・デモ音源制作
- ③ プリプロ③・デモ音源制作
- ④ デモ音源仕上げ・試聴会
- ⑤ オリジナル楽曲選定・プリプロ①
- ⑥ プリプロ②・デモ音源制作
- ⑦ 期末試験：デモ音源仕上げ・試聴会

#### 中間試験評価方法・評価基準

(アレンジ、演奏技術、演奏内容を含めた) デモ音源のクオリティー 40%  
 プリプロへの貢献度 30%  
 出席状況 30% で成績評価を算出します。

### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ オリジナル楽曲選定・プリプロ①
- ⑨ プリプロ②・デモ音源制作
- ⑩ プリプロ③・デモ音源制作
- ⑪ デモ音源仕上げ・試聴会
- ⑫ オリジナル楽曲選定・プリプロ①
- ⑬ プリプロ②・デモ音源制作
- ⑭ プリプロ③・デモ音源制作
- ⑮ 期末試験：デモ音源仕上げ・試聴会

### 期末試験評価方法・評価基準

(アレンジ、演奏技術、演奏内容を含めた) デモ音源のクオリティー 40%  
プリプロへの貢献度 30%  
出席状況 30% で成績評価を算出します。

### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	レコーディング演習Ⅲ
担当講師名	前田基彦
学期	集中
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

フリーランスエンジニア。自身のスタジオを中心に活動。バンド/劇伴/映画サラウンド等幅広いジャンルに関わる。

#### 授業内容

レコーディング作品を制作する授業です。ミュージシャン、プレーヤーとして無くてはならないレコーディングにおける必要知識（キューボックス使用法、アンサンブル力、コミュニケーションスキル等）を、学生自身が選択した楽曲を実演録音しながら学んで行きます。アレンジを研究、演奏方法をアドバイスすることで授業外での活動（バンドやアレンジ等）のヒントとなるように解説、指導します。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

レコーディング習慣の習得、キューボックス使用法、アンサンブル力、コミュニケーションスキル習得を目指します。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①演奏（リハーサル1回、本番1回）
- ②演奏（リハーサル1回、本番1回）
- ③演奏（リハーサル1回、本番1回）
- ④演奏（リハーサル1回、本番1回）
- ⑤演奏（リハーサル1回、本番1回）
- ⑥演奏（リハーサル1回、本番1回）
- ⑦演奏（リハーサル1回、本番1回）小テスト

#### 中間試験評価方法・評価基準

小テスト結果（レコーディングにおける必要知識、キュー ポックス使用法、アンサンブル力、コミュニケーションスキル）30%、レポート（譜面作成スキル）30%、欠席や遅刻の有無30%、受講態度や積極性10%で算出致します。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧演奏（リハーサル1回、本番1回）
- ⑨演奏（リハーサル1回、本番1回）
- ⑩演奏（リハーサル1回、本番1回）
- ⑪演奏（リハーサル1回、本番1回）
- ⑫演奏（リハーサル1回、本番1回）
- ⑬演奏（リハーサル1回、本番1回）
- ⑭演奏（リハーサル1回、本番1回）
- ⑮演奏（リハーサル1回、本番1回）小テスト

#### 期末試験評価方法・評価基準

小テスト結果（レコーディングにおける必要知識、キュー ポックス使用法、アンサンブル力、コミュニケーションスキル）30%、レポート（譜面作成スキル）30%、欠席や遅刻の有無30%、受講態度や積極性10%で算出致します。

#### 特記事項

集中授業

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	レコーディング演習IV
担当講師名	前田基彦
学期	集中
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

フリーランスエンジニア。自身のスタジオを中心に活動。バンド/劇伴/映画サウンド等幅広いジャンルに関わる。

#### 授業内容

レコーディング作品を制作する授業です。ミュージシャン、プレーヤーとして無くてはならないレコーディングにおける必要知識（キューボックス使用法、アンサンブル力、コミュニケーションスキル等）を、学生自身が選択した楽曲を実演録音しながら学んで行きます。アレンジを研究、演奏方法をアドバイスすることで授業外での活動（バンドやアレンジ等）のヒントとなるように解説、指導します。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

レコーディング習慣の習得、キューボックス使用法、アンサンブル力、コミュニケーションスキル習得を目指します。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①演奏（リハーサル1回、本番1回）
- ②演奏（リハーサル1回、本番1回）
- ③演奏（リハーサル1回、本番1回）
- ④演奏（リハーサル1回、本番1回）
- ⑤演奏（リハーサル1回、本番1回）
- ⑥演奏（リハーサル1回、本番1回）
- ⑦演奏（リハーサル1回、本番1回） 小テスト

#### 中間試験評価方法・評価基準

小テスト結果（レコーディングにおける必要知識、キュー ポックス使用法、アンサンブル力、コミュニケーションスキル）30%、レポート（譜面作成スキル）30%、欠席や遅刻の有無30%、受講態度や積極性10%で算出致します

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧演奏（リハーサル1回、本番1回）
- ⑨演奏（リハーサル1回、本番1回）
- ⑩演奏（リハーサル1回、本番1回）
- ⑪演奏（リハーサル1回、本番1回）
- ⑫演奏（リハーサル1回、本番1回）
- ⑬演奏（リハーサル1回、本番1回）
- ⑭演奏（リハーサル1回、本番1回）
- ⑮演奏（リハーサル1回、本番1回）小テスト

#### 期末試験評価方法・評価基準

小テスト結果（レコーディングにおける必要知識、キュー ポックス使用法、アンサンブル力、コミュニケーションスキル）30%、レポート（譜面作成スキル）30%、欠席や遅刻の有無30%、受講態度や積極性10%で算出致します。

#### 特記事項

集中授業

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ライブ制作実習Ⅱ
担当講師名	大井澄東
学期	通年
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

講師はライブやコンサート、ツアーの出演を含む、企画、運営、実施の実務経験を持ちます。

#### 授業内容

春学期末に実施する「学科ライブ」と秋学期末に実施する「卒業ライブ」の運営を通して、ライブイベントを企画、運営、実施する際の手法と、各自でバンドを立ち上げリハーサルを積み、ライブに出演する際の注意点などを学ぶ。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

ミュージシャンの活動の核となる「ライブ」に関わるあらゆる事柄を、実際のライブを制作しながら体験する。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① 担当振り分け
- ② フライヤーデザイン案
- ③ バンドエントリー
- ④ 各種提出物の締切確認
- ⑤ バンドシート提出
- ⑥ 音響・照明打合せ
- ⑦ 場当たり

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席 70%・平常点・提出物 30%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ① 各種提出物の締切確認
- ② バンドシート提出

- ③ Web 広報
- ④ 会場下見
- ⑤ 協賛を探そう
- ⑥ 集客確認
- ⑦ 場当たり
- ⑧ 最終確認

期末試験評価方法・評価基準

出席 70%・平常点・提出物 30%

特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ジャズ・ポピュラー概論III（セルフプロモーションツール制作I）
担当講師名	関谷友貴
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経験

自宅スタジオを使った SNS 動画作成や YouTube ライブ配信。クラウドファンディングを使った CD アルバム制作。

#### 授業内容

現代に生きるフリーランスマッジシャンはパソコンやスマートフォン、インターネットを駆使して自分自身のプロモーションをしていく必要がある。その為のツール作成方法をこの授業で学び、音楽業界で仕事を掴む方法を身につける。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

アーティストプロフィールの作成  
インターネットツールの使用方法の理解  
自己プロモーション動画の作成

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①オリエンテーション/SNSに対するリサーチ
- ②アーティスト写真を撮る
- ③アーティスト写真を編集する
- ④アーティストプロフィールを作る
- ⑤SNSをプロモーションツールとして使う
- ⑥SNSの効果的な使い方／インターネット上の著作権
- ⑦試験、作品発表

## 中間試験評価方法・評価基準

授業で学んだ内容を盛り込んだ SNS のリンクを提出。出席率を重視します。出席 60%、テスト 40%

## 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧プロモーション動画制作／どんな動画を制作したいか考えよう
- ⑨プロモーション動画制作／カラオケ音源の制作
- ⑩プロモーション動画制作／撮影①
- ⑪プロモーション動画制作／撮影②
- ⑫プロモーション動画制作／編集①
- ⑬プロモーション動画制作／編集②
- ⑮試験

## 期末試験評価方法・評価基準

授業で学んだ内容を盛り込んだ動画をデータで提出。出席率を重視します。出席 60%、テスト 40%

## 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ジャズ・ポピュラー概論IV（セルフプロモーションツール制作II）
担当講師名	関谷友貴
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

自宅スタジオを使った SNS 動画作成や YouTube ライブ配信。クラウドファンディングを使った CD アルバム制作。

#### 授業内容

現代に生きるフリーランスマュージシャンはパソコンやスマートフォン、インターネットを駆使して自分自身のプロモーションをしていく必要がある。その為のツール作成方法をこの授業で学び、音楽業界で仕事を掴む方法を身につける。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

ライブ配信についての知識  
ウェブサイト、名刺の作成  
音楽の仕事が来た際の心構えや準備についての知識  
確定申告など、音楽の仕事にまつわる税金の知識

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①ライブ配信入門／仕組み・テスト配信
- ②ライブ配信入門／スマートフォンで模擬ライブ配信
- ③ライブ配信／機材説明・テスト配信
- ④ライブ配信／パソコンで模擬ライブ配信①
- ⑤本格的なライブ配信／機材説明・テスト配信
- ⑥本格的なライブ配信／パソコンで模擬ライブ配信②
- ⑦試験、作品発表

### 中間試験評価方法・評価基準

授業で学んだ内容を盛り込んだ、ライブ配信のアーカイブをデータで提出。出席率を重視します。出席 60%、テスト 40%

### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧オンライン楽器レッスンのやり方
- ⑨オンラインレコーディングのやり方
- ⑩Web サイトを作る
- ⑪名刺を作る
- ⑫デモテープ（デモ CD）を作る
- ⑬仕事に繋げる心構え・クラウドファンディングの知識
- ⑭ミュージシャンが知っておきたい税金の知識
- ⑮試験

### 期末試験評価方法・評価基準

授業で学んだ内容を盛り込んだ名刺の提出。出席率を重視します。出席 60%、テスト 40%

### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ジャズセオリーⅢ
担当講師名	寺屋ナオ
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

講師はギター奏者としての演奏活動、作編曲家としての作編曲提供の実務経験を持ちます。

#### 授業内容

この科目では、音程、和音、和音の進行や和音の機能、和音と音階の関係について学んでいきます。1Q では、マイナーキィの Diatonic chord の機能、及び Secondary dominant について学びます。2Q では Diatonic から離れるコードについて学んでいきます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

1Q は音程(Interval)について理解すること、2Q はコードネームから、その構成音を理解出来るようになる事が目標です。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①3つの Minor scale から派生する Diatonic chord について学びます。
- ②トニックとドミナント機能に注目して、マイナーのダイアトニックコードの連結を学びます。 (Dominant motion)。
- ③マイナーのサブドミナント機能を含めたダイアトニックコードの連結を学びます。
- ④マイナーでのトニック、ドミナント、サブドミナントの三つの機能を活用した様々なコードの連結を学びます。
- ⑤2nd、3rd、4th といった音程のルートの動きに注目し、コード進行を学びます。
- ⑥Minor key 特有の特殊なコードの機能について学びます。 (IV7 や IIIm7 等)。
- ⑦1Q の授業を踏まえた内容の筆記試験を実施します。

#### 中間試験評価方法・評価基準

**筆記試験を実施します。**

連続性の高い授業なので出席を重視し、採点します。採点の比率は下記参照。

1Q のテストは、音程に対する理解を測る内容の試験を実施します。

出席:60% 筆記試験:40%

#### 授業計画（8回目から15回目）

⑧Minor Key(短調)で使われる、Secondary dominantについて学びます。

⑨引き続き Minor Key(短調)で使われる、Secondary dominantについて学びます。

⑩Secondary dominantに関連するコード、Related II<sub>m</sub>の短調での活用について学びます。

⑪引き続き Secondary dominantに関連するコード、Related II<sub>m</sub>の短調での活用について学びます。

⑫様々な Mode から借りてくる和音、Modal interchange の基本コンセプトを学びます。

⑬Modal interchange の代表格、Subdominant minor と呼ばれるコード達を活用した進行を学びます。

⑭Aeolian Mode 以外から借りてくる Modal interchangeについて学びます。

⑮春学期の授業を踏まえた内容の筆記試験を実施します。

#### 期末試験評価方法・評価基準

**筆記試験を実施します。**

連続性の高い授業なので出席を重視し、採点します。採点の比率は下記参照。

前期の授業内容をふまえ、音程について、及び和音記号(コードネーム)とその構成音(コードトーン)に対する理解を理解を図る内容の試験を実施します。

出席:60% 筆記試験:40%

#### 特記事項

遠隔(オンライン)での授業の特性上、各授業毎の課題の提出が出席に代わるものとなります。各課題の提出などにおいて、電子機器(タブレットやスタイルスペン)の使用を推奨します。

参考図書としては、下記をお勧めします。

「ポピュラー音楽理論」

北川祐 著

リットーミュージック

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	ジャズセオリーIV
担当講師名	寺屋ナオ
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

講師はギター奏者としての演奏活動、作編曲家としての作編曲提供の実務経験を持ちます。

#### 授業内容

この科目では、音程、和音、和音の進行や和音の機能、和音と音階の関係について学んでいきます。3Q では和音と音階の関係性を、4Q では音階の中から派生する、上声部三和音(Upper structure triad)を学んでいきます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

3Q では、各和音の機能とその音階、そしてそこから導き出されるテンションノートを理解することが目標です。4Q では様々に音階から導き出される、上声部三和音を理解することが目標です。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①音程について復習し、音階の設定の仕方、Avoid Note の設定について学びます。
- ②Major Key の Diatonic コードに関するスケールを学びます。
- ③引き続き Major Key の Diatonic コードに関するスケールを学びます。。
- ④Secondary Dominant コードに関するスケールを学びます。
- ⑤Diminished スケール、Whole tone スケール、symmetrical augmented スケールについて学びます。
- ⑥調性は関係なく、コードタイプ毎のスケールとの関わりを学びます。
- ⑦3Q の授業を踏まえた内容の筆記試験を実施します。

## 中間試験評価方法・評価基準

筆記試験を実施します。

連続性の高い授業なので出席を重視し、採点します。採点の比率は下記参照。

ダイアトニックコードの機能に対する理解を図る内容の試験を実施します。

出席:60% 筆記試験:40%

## 授業計画（8回目から15回目）

⑧スケール内の音の組み合わせによる上部三和音(Upper structure triad)について学びます。

⑨Major7th コードに関連する様々なスケールの Upper structure triad を学びます。

⑩Minor7 コードに関連する様々なスケールの Upper structure triad を学びます。

⑪Minor6th, Maj7th コードに関連する様々なスケールの Upper structure triad を学びます。

⑫7th コードに関連する様々なスケールの Upper structure triad を学びます。

⑬Minor7th(b5) コードに関連する様々なスケールの Upper structure triad を学びます。

⑭Mado を活用した和音と、調性音楽(Tonal harmon)の違いを学びます。

⑮後期の授業を踏まえた内容の筆記試験を実施します。

## 期末試験評価方法・評価基準

筆記試験を実施します。

連続性の高い授業なので出席を重視し、採点します。採点の比率は下記参照。

後期授業に対する理解を図る内容の試験を実施します。

出席:60% 筆記試験:40%

## 特記事項

遠隔(オンライン)での授業の特性上、各授業毎の課題の提出が出席に代わるものとなります。各課題の提出などにおいて、電子機器(タブレットやスタイルスペン)の使用を推奨します。

参考図書としては、下記をお勧めします。

「ポピュラー音楽理論」

北川祐 著

リットーミュージック

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	マルチトレーニング I (Per)
担当講師名	吉川 弾
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

国内外でのドラム、パーカッションの演奏活動、メジャー・アーティストのサポート、CM 楽曲提供等

メジャー・アーティストサポートでの TV 出演、コンサートツアー、アメリカでの音楽フェス'ProgDay'出演、などの実務経験を持ちます。

#### 授業内容

講師の実務経験に基づき、春楽器はポップスにおけるパーカッション（ブラジリアン、ラテン）の種類、コンガの基本的な奏法などを学びます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

各楽器の組み合わせで成るリズムパターン

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① オリエンテーション ボンゴ、カホーンの基本的な叩き方
- ② コンガの基礎練習の仕方 シェーカー、トライアングル、カウベル、タンバリンの基本的な叩き方
- ③ コンガの基礎練習の仕方 ティンバレスの基本的な叩き方
- ④ ビートを叩いてみよう 各楽器の基本的なリズムパターン
- ⑤ ビートを叩いてみよう 各楽器の組み合わせで成るリズムパターン
- ⑥ ビートを叩いてみよう 各楽器の組み合わせで成るリズムパターン
- ⑦ 基本ビートとフィルインを織り交ぜて 16 小節程度を演奏するテスト 実技試験

#### 中間試験評価方法・評価基準

クオーター末試験 ・ 宿題 ・ 授業への取り組み方で評価します。出席 ・ 遅刻もおおいに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ いろいろなコンガのビート コンガパターンのバリエーション
- ⑨ いろいろなコンガのビート コンガパターンのバリエーション
- ⑩ いろいろなコンガのビート フィルイン、展開のつけ方
- ⑪ 曲に挑戦 曲の解説(One Note Samba)
- ⑫ 曲に挑戦 Aセクションのパターン
- ⑬ 曲に挑戦 Bセクションのパターン
- ⑭ グループを知ろう 1曲通してみよう
- ⑮ 実技試験

#### 期末試験評価方法・評価基準

クオーター末試験 ・ 宿題 ・ 授業への取り組み方で評価します。出席 ・ 遅刻もおおいに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

#### 特記事項

特になし

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	マルチトレーニング(Key)I
担当講師名	藤本暁子
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経験

講師は、ジャズピアニストとして演奏活動を行なっております。

#### 授業内容

キーボード専攻以外の学生の為の授業です。春学期は 7th までの主要なコードの練習をしていきます。それぞれの進度に合わせて授業を進めていきます。授業には必ずヘッドホンを持参してください。授業内容の Lesson ○は基礎練習課題です。  
この科目では、楽しく弾くことを前提に授業を進めています。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

それぞれのレベルの上（基本形 or 転回形）で、曲に合ったパターンで（白玉 or リズム）弾くことができているか。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①C Major : I, IV, V & I, IV, V, VI<sup>m</sup> : ♪ : La Bamba ♪: 茶色の小瓶 (I, IV, V)、♪ : Stand by me (I, IV, V, VI<sup>m</sup>) / Lesson 1 & 2
- ②C Major : I, IV, V, VI<sup>m</sup> : ♪ : Let it be (I, IV, V, VI<sup>m</sup>) / Lesson 1 & 2
- ③C Major : Dorian Chord : ♪: 聖者の行進 (F) / Lesson 3
- ④C Major : Non Dorian Chord : ♪ : Lovin' you (C F G Bb D) / Lesson 3
- ⑤このクオーターのまとめと、試験のレクチャー
- ⑥試験 : 1Q で取り上げた曲の中から一曲演奏する。（録画します。）
- ⑦総括 : 試験の映像を見て、反省すると共に、2Q に向けての目標を設定する。

#### 中間試験評価方法・評価基準

毎回の授業への取り組み方で評価します。出席・遅刻もおおいに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。試験は毎回の授業に出ていれば楽しく受けられます。

出席 : 40% 平常点 : 40% 試験 : 20%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧Pops 曲 : ♪ : Emotions (Mariah Carey) / Lesson 4

- ⑨Pops 曲 : ♪ : Emotions (Mariah Carey) / Lesson 4
- ⑩Pops 曲 : ♪ : Change the world (Eric Clapton) / Lesson 5
- ⑪Pops 曲 : ♪ : Change the world (Eric Clapton) / Lesson 5
- ⑫Pops 曲 : ♪ : Just the two of us (Grover Washington Jr.) / Lesson 6
- ⑬Pops 曲 : ♪ : Just the two of us (Grover Washington Jr.) / Lesson 6
- ⑭試験 : 2Q で取り上げた曲の中から一曲演奏する。(録画します。)
- ⑮総括 : 試験の映像を見て、反省すると共に、3Q に向けての目標を設定する。

#### 期末試験評価方法・評価基準

毎回の授業への取り組み方で評価します。出席・遅刻もおおいに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。試験は毎回の授業に出ていれば楽しく受けられます。

出席 : 40% 平常点 : 40% 試験 : 20%

#### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	マルチトレーニング(Per)II
担当講師名	吉川 弾
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

国内外でのドラム、パーカッションの演奏活動、メジャー・アーティストのサポート、CM 楽曲提供等

メジャー・アーティストサポートでの TV 出演、コンサートツアー、アメリカでの音楽フェス'ProgDay'出演、などの実務経験を持ちます。

#### 授業内容

講師の実務経験に基づき、秋楽器は、コンガも含め、ボンゴ、等の皮もの、トライアングル、カウベル、タンバリン等の小物、カホーンの知識を深めます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

ドラムとのアンサンブルによりどのような効果がもたらされるのか、様々な楽器のリズムパターンを知ることにより、専攻楽器の演奏が豊かになる事を目指します。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① 楽器を知ろう ボンゴ、カホーンの基本的な叩き方
- ② 楽器を知ろう シェーカー、トライアングル、カウベル、タンバリンの基本的な叩き方
- ③ 楽器を知ろう ティンバレスの基本的な叩き方
- ④ リズムを知ろう 各楽器の基本的なリズムパターン
- ⑤ リズムを知ろう 各楽器の組み合わせで成るリズムパターン
- ⑥ リズムを知ろう 各楽器の組み合わせで成るリズムパターン
- ⑦ 実技試験

#### 中間試験評価方法・評価基準

クオーター末試験・宿題・授業への取り組み方で評価します。出席・遅刻もおおいに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ ドラムと一緒にグループを作ろう ロック&ポップス (Rock with You)
- ⑨ ドラムと一緒にグループを作ろう ボサノバ (イパネマの娘)
- ⑩ ドラムと一緒にグループを作ろう サンバ(Blue Bossa)
- ⑪ ドラムと一緒にグループを作ろう サルサ (Mambo In)
- ⑫ ドラムと一緒にグループを作ろう ソンゴ(Manteca)
- ⑬ ドラムと一緒にグループを作ろう ジャズ(Now the time)
- ⑭ カホーンを中心に小物を交えつつソロ
- ⑮ みんなでアンサンブル実技試験

#### 期末試験評価方法・評価基準

クオーター末試験 ・ 宿題 ・ 授業への取り組み方で評価します。出席 ・ 遅刻もおおいに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

#### 特記事項

特になし

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	マルチトレーニング(Key) II
担当講師名	藤本暁子
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経験

講師は、ジャズピアニストとして演奏活動を行なっております。

#### 授業内容

秋学期は、テンションコードを弾けるようにしていきます。3Q はジャズブルースのコードの押さえ方を練習していきます。Key of C, F, Bb の練習をしていきます。4Q はジャズスタンダード曲を弾けるように練習します。ジャズ・スタンダード・バイブルを持参してください。この科目では、引き続き楽しく弾くことを前提に授業を進めていきます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

テンションを含むコードの基本の押さえ方から始まり、転回形も押さえられるようにする。できる学生は、リズムを伴ったコンピングに挑戦したり、ソロにも挑戦してみる。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① ジャズブルース (key of C) : ♫C jam Blues, ♫In the Mood (メロディー)、Lesson 7
- ② ジャズブルース (key of C) : ♫C jam blues / Lesson 7
- ③ ジャズブルース (key of F) : ♫ Now's the time / Lesson 8
- ④ ジャズブルース (key of F) : ♫ Now's the time / Lesson 8
- ⑤ ジャズブルース (key of Bb) : ♫ The Chicken / Lesson 9
- ⑥ 試験：3Q で取り上げた曲の中から一曲演奏する。（録画します。）
- ⑦ 総括：試験の映像を見て、反省すると共に、4Q に向けての目標を設定する。

#### 中間試験評価方法・評価基準

毎回の授業への取り組み方で評価します。出席・遅刻もおおいに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。試験は毎回の授業に出ていれば楽しく受けられます。

出席：40% 平常点：40% 試験：20%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ Major key : II<sup>m</sup>7 - V7 - I M7: ♫Joy Spring / Lesson 10
- ⑨ Major key : II<sup>m</sup>7 - V7 - I M7: ♫Joy Spring / Lesson 10
- ⑩ Major key : II<sup>m</sup>7 - V7 - I M7: ♫Joy Spring / Lesson 11

⑪Minor key : II<sub>m</sub>7(b5) - V7 - I<sub>m</sub>7 : ♫Fly me to the moon / Lesson 11

⑫Minor key : II<sub>m</sub>7(b5) - V7 - I<sub>m</sub>7 : ♫Fly me to the moon / Lesson 12

⑬Minor key : II<sub>m</sub>7(b5) - V7 - I<sub>m</sub>7 : ♫Fly me to the moon / Lesson 12

⑭試験：4Q で取り上げた曲の中から一曲演奏する。（録画します。）

⑮総括：試験の映像を見て、反省すると共に、1年間の授業を振り返ってみる。

#### 期末試験評価方法・評価基準

毎回の授業への取り組み方で評価します。出席・遅刻もおおいに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。試験は毎回の授業に出ていれば楽しく受けられます。

出席：40% 平常点：40% 試験：20%

#### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	英会話初級中級 a
担当講師名	ツアイ・ペイルン
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

尚、講師は音楽留学のカウンセリング、大学受験英語対策等の実務経験がある経験豊富なプロフェッショナルです。

#### 授業内容

英語による日常的な言語活動（聴く・話す・読む・書く）が行えるよう、自然かつ流暢に英会話ができるようにする。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

自信を持って英語で会話できるようになるスキルを身につける。そのために必要な語彙と文法の習得及び、様々な内容のテキスト（グループディスカッション）の使用により、英語コミュニケーション能力をも養成する。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①挨拶、自己紹介
- ②楽器紹介Ⅰ
- ③楽器紹介Ⅱ
- ④どんな音楽が好きですか？
- ⑤作曲家&作詞家紹介
- ⑥期中復習
- ⑦期中試験

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席：25% 平常点：25% 課題：10% 試験：40%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧音楽用語
- ⑨海外旅行Ⅰ
- ⑩海外旅行Ⅱ
- ⑪発表会 スピーチⅠ
- ⑫発表会 スピーチⅡ
- ⑬音楽祭紹介Ⅰ
- ⑭期末復習
- ⑮期末試験

期末試験評価方法・評価基準

出席：25% 平常点：25% 課題：10% 試験：40%

特記事項

教材・参考書：担当教員より指示される。辞書は必ず持参すること。

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	英会話初級中級 b
担当講師名	ツアイ・ペイルン
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

尚、講師は音楽留学のカウンセリング、大学受験英語対策等の実務経験がある経験豊富なプロフェッショナルです。

#### 授業内容

英語による日常的な言語活動（聞く・話す・読む・書く）が行えるよう、自然かつ流暢に英会話ができるようにする。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

自信を持って英語で会話できるようになるスキルを身につける。そのためには必要な語彙と文法の習得及び、様々な内容のテキスト（グループディスカッション）の使用により、英語コミュニケーション能力をも養成する。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①日常英会話（学校）
- ②将来の計画
- ③音楽の履歴を書く
- ④音楽のプロフィールを書
- ⑤リハーサル演奏技法
- ⑥期中復習
- ⑦期中試験

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席：25% 平常点：25% 課題：10% 試験：40%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧面接(大学)
- ⑨面接(仕事)
- ⑩演奏会感想
- ⑪コンサート紹介Ⅰ
- ⑫コンサート紹介Ⅱ
- ⑬マスタークラス
- ⑭期末復習
- ⑮期末試験

期末試験評価方法・評価基準

出席：25% 平常点：25% 課題：10% 試験：40%

特記事項

教材・参考書：担当教員より指示される。辞書は必ず持参すること。

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	英会話初級中級 a
担当講師名	岩橋 宣輔
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

講師はヨーロッパにて15年間の在住経験を持ち、株式会社テレビ朝日での映像翻訳の実務経験、ならびにキングレコード株式会社での英仏独文翻訳およびライナーノート執筆の実務経験を持ちます。

#### 授業内容

英会話ならびに英文法を、主に洋楽を用いた音楽的観点から学びます。文法は義務教育レベルの基本を主軸とし、限られた語彙・学習量での最大限のコミュニケーションスキルの獲得を目指します。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

英語は難しい勉強であるという心理的なブロックを排し、母国語と同じような仕組みの上に成り立っているコミュニケーションツールであるということ、および西洋音楽発展の歴史のうえで極めて密接な関係にあるということを理解する見地を育みます。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① 科目概要：講師自己紹介ならびにコース説明
- ② 音楽史と西洋言語の関係性概論：教会音楽の樹立からポップミュージックの発展に至るまでの音楽の歴史と、西洋言語の密接な関係性
- ③ SVO 基本文型：英語の核となるSVO 基本文型（主語・動詞・目的語）とその応用性
- ④ 発音(1)：英語の基本概念となる音節についての説明、ならびに子音と母音の分離
- ⑤ 発音(2)：子音と母音の個別発音演習
- ⑥ 歌唱：詩や楽曲構造の解説の上、英語歌曲の演習
- ⑦ クオーター末試験：歌唱試験

#### 中間試験評価方法・評価基準

歌唱試験を行います。

口のフォームや英語本来のリズムに沿ったフレーズ感であるか等を評価します。

出席：50% 平常点：30% 試験：20%

### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ コミュニケーション演習(1)：グループで単語当て人狼ゲーム「ワードウルフ」を行い、コミュニケーション能力と言い換えスキルの獲得
- ⑨ コミュニケーション演習(2)：同上。回数を重ねることで徐々に英語のみでのゲームの成立を目指します
- ⑩ 英文法(1)：冠詞および過去形・過去分詞の違い
- ⑪ 英文法(2)：前置詞および句動詞
- ⑫ 総復習：夏期休暇明けのため、第1クオーターを含む学習内容の総復習
- ⑬ 期末試験準備(1)：少人数グループでの英語楽曲歌唱試験に向けての楽曲の開示ならびに解説
- ⑭ 期末試験準備(2)：同上。上記楽曲の実技演習
- ⑮ 学期末試験：グループでの英語楽曲歌唱試験

### 期末試験評価方法・評価基準

歌唱試験を行います。

口のフォームや英語本来のリズムに沿ったフレーズ感であるか等を評価します。

出席：50% 平常点：30% 試験：20%

### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	英会話初級中級 b
担当講師名	岩橋 宣輔
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

講師はヨーロッパにて15年間の在住経験を持ち、株式会社テレビ朝日での映像翻訳の実務経験、ならびにキングレコード株式会社での英仏独文翻訳およびライナーノート執筆の実務経験を持ちます。

#### 授業内容

英会話ならびに英文法を、主に洋楽を用いた音楽的観点から学びます。文法は義務教育レベルの基本を主軸とし、限られた語彙・学習量での最大限のコミュニケーションスキルの獲得を目指します。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

英語は難しい勉強であるという心理的なブロックを排し、母国語と同じような仕組みの上に成り立っているコミュニケーションツールであるということ、および西洋音楽発展の歴史のうえで極めて密接な関係にあるということを理解する見地を育みます。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① 科目概要：講師自己紹介ならびにコース説明
- ② 音節(1)：英語の基本概念となる音節についての説明、ならびに子音と母音の分離
- ③ 音節(2)：音節の考え方および発音実習
- ④ SVO 基本文型：英語の核となる SVO 基本文型（主語・動詞・目的語）とその応用性。春学期に引き続き、最重要テーマのため復習します
- ⑤ コミュニケーション演習(3)：様々な文型の例文を用いて、生徒間での質疑応答ならびに会話演習を行います
- ⑥ 歌唱：詩や楽曲構造の解説の上、英語歌曲の演習
- ⑦ クオーター末試験：歌唱試験

#### 中間試験評価方法・評価基準

歌唱試験を行います。  
口のフォームや英語本来のリズムに沿ったフレーズ感であるか等を評価します。

出席：50% 平常点：30% 試験：20%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ コミュニケーション演習(4)：様々な文型の例文を用いて、生徒間での質疑応答ならびに会話演習を行います
- ⑨ クリスマスキャロル歌唱：西洋において重要な音楽文化であるクリスマスキャロルについての説明と歌唱
- ⑩ 総復習：冬期休暇明けのため、第3クオーターを含む学習内容の総復習
- ⑪ コミュニケーション演習(5)：グループで単語当て人狼ゲーム「ワードウルフ」を行い、コミュニケーション能力と言い換えスキルの獲得
- ⑫ コミュニケーション演習(6)：同上。より大人数でのグループ分けによるディスカッション形式でのゲームの成立を目指します
- ⑬ 期末試験準備(1)：少人数グループでの英語楽曲歌唱試験に向けての楽曲の開示ならびに解説
- ⑭ 期末試験準備(2)：同上。上記楽曲の実技演習
- ⑮ 学期末試験：グループでの英語楽曲歌唱試験

#### 期末試験評価方法・評価基準

歌唱試験を行います。

口のフォームや英語本来のリズムに沿ったフレーズ感であるか等を評価します。

出席：50% 平常点：30% 試験：20%

#### 特記事項

秋学期は春学期から継続しての受講者と新規受講者が混在するため、カリキュラムが大幅に変更される可能性があります。

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	英会話初級中級 a
担当講師名	高梨 朋子・酒井 佳奈子
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

#### 授業内容

このコースではいろいろなテーマを基に、自分が言ってみたい、聞いてみたいと思う体験を積んでいきます。チャンツのリズムを楽しみながら英語表現を身につけ、英語を聞く楽しさ、英語を話す楽しさを実感します。英語の曲も歌います。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

学期の終わりには、自分の英語で伝えたいことを発表し、外国人と進んでコミュニケーションできるようになることが目標です。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①Nice to meet you! 自分から挨拶してみよう
- ②I'm from Japan. 自分の出身地を紹介しよう
- ③What's her name? 友だちにインタビューしてみよう
- ④Where do you live? その人のことを一言で表してみよう
- ⑤She is interesting. その人の特徴を伝えよう
- ⑥This is my mother. 自分の大切な人やものを紹介しよう
- ⑦Presentation（発表） 今まで習った英語で自己紹介や自分アピールの発表を行います

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席点 30%、平常点 30%、発表点 40%

今求められる英語力とはコミュニケーションする力です。評価は普段の出席及び、間違いを恐れずに自分の思ったことを英語で表現しようとする態度を重視します。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧Three pizzas, please. いくつ欲しいのかを伝えよう

- ⑨How much is this bag? 買い物をしてみよう
- ⑩Where are my keys? 家の中に何があるか教えよう
- ⑪Is there a bus to the airport? 行きたい場所をたずねてみよう
- ⑫What time does the library open? 時間を伝えよう
- ⑬I go shopping on weekends. 週末には何をするかを伝えよう
- ⑭Review 今学期の総復習をしよう
- ⑮Presentation (発表) 外国人レッスンの中で、週末の予定を紹介しよう

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席点 30%、平常点 30%、発表点 40%

コミュニケーションに必要なのは、難しい単語や文法よりも、何とか相手に伝えようとする気持ちや態度です。評価は普段の出席及び、学んだ英語を使って自分の思いを伝えたり、進んでコミュニケーションしようとする態度を重視します。

#### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	英会話初級中級 b
担当講師名	高梨 朋子・酒井 佳奈子
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

#### 授業内容

このコースではいろいろなテーマを基に、自分が言ってみたい、聞いてみたいと思う体験を積んでいきます。チャンツのリズムを楽しみながら英語表現を身につけ、英語を聞く楽しさ、英語を話す楽しさを実感します。英語の曲も歌います。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

学期の終わりには、自分の英語で伝えたいことを発表し、外国人と進んでコミュニケーションできるようになることが目標です。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①Where do you work? どんな職業に就きたいかを伝えよう
- ②I do karaoke on Wednesdays. 普段していることを話してみよう
- ③I can play baseball. どんなことができるのかを伝えよう
- ④I like Italian food. 簡単に作り方を教えよう
- ⑤Can you call back later? 電話をしてみよう
- ⑥Would you like to go to the movies? 上手な返答の仕方を考えよう
- ⑦Presentation（発表） 今まで習った英語で自己紹介や自分をアピールする発表を行います

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席点 30%、平常点 30%、発表点 40%

今求められる英語力とはコミュニケーションする力です。評価は普段の出席及び、間違いを恐れずに自分の思ったことを英語で表現しようとする態度を重視します。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧Please don't play loud music. ルールについて話してみよう
- ⑨I have a headache. 症状を伝えよう
- ⑩I'm going to go sightseeing. 休暇に何をするか話してみよう
- ⑪How was your vacation? 休暇の思い出を伝えよう
- ⑫How much do you spend each month? お金の使い方を話してみよう
- ⑬How do I get to the bank? わかりやすく道案内しよう
- ⑭Review 今学期の総復習をしよう
- ⑮Presentation (発表) 外国人レッスンの中で、休暇の思い出を紹介します

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席点 30%、平常点 30%、発表点 40%

コミュニケーションに必要なのは、難しい単語や文法よりも、何とか相手に伝えようとする気持ちや態度です。評価は普段の出席及び、学んだ英語を使って自分の思いを伝えたり、進んでコミュニケーションしようとする態度を重視します。

#### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	インターンシップ I
担当講師名	大井 澄東
学期	春
授業の形態	実習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

#### 授業内容

学科が認めた、学外のイベント、ライブ等への出演、オーディションへの参加、その他の学外活動、企業研修を行います。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

各々の進路を踏まえた学外活動、オーディションを体験することにより、卒業後の進路への準備、仕事のオファーを受ける為に必要な技術と経験のレベルを知る事を目標とします。

#### 授業計画（1回目から7回目）

#### 中間試験評価方法・評価基準

外部活動に対しての積極性、向上心、責任感、仕事に対する姿勢、また、オーディション結果等を評価します。

#### 授業計画（8回目から15回目）

#### 期末試験評価方法・評価基準

外部活動に対しての積極性、向上心、責任感、仕事に対する姿勢、また、オーディション結果等を評価します

#### 特記事項

学科名	ジャズ・ポピュラー学科
科目名	インターンシップⅡ
担当講師名	大井 澄東
学期	秋
授業の形態	実習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関する実務経歴

#### 授業内容

学科が認めた、学外のイベント、ライブ等への出演、オーディションへの参加、その他の学外活動、企業研修を行います。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

各々の進路を踏まえた学外活動、オーディションを体験することにより、卒業後の進路への準備、仕事のオファーを受ける為に必要な技術と経験のレベルを知る事を目標とします。

#### 授業計画（1回目から7回目）

#### 中間試験評価方法・評価基準

外部活動に対しての積極性、向上心、責任感、仕事に対する姿勢、また、オーディション結果等を評価します。

#### 授業計画（8回目から15回目）

#### 期末試験評価方法・評価基準

外部活動に対しての積極性、向上心、責任感、仕事に対する姿勢、また、オーディション結果等を評価します

#### 特記事項